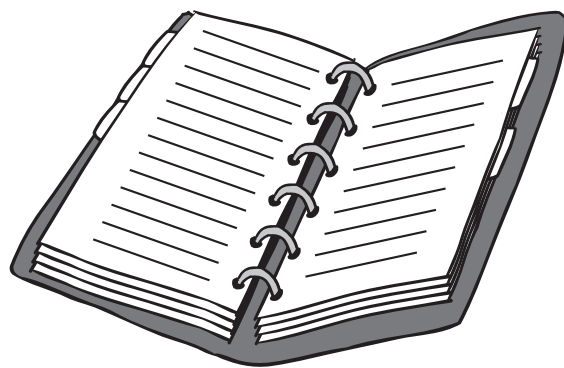


2007年度 新入社員 意識調査報告書



2007年6月

JMA 社団法人日本能率協会

2007年度 新入社員意識調査 報告書

目 次 CONTENTS

1. 全体のまとめ	1
2. 調査の目的と方法	3
2. 1 調査の目的	3
2. 2 調査の対象	3
2. 3 調査方法	3
2. 4 調査期間	3
2. 5 新入社員調査票回収状況	3
2. 6 調査項目	4
3. 調査対象者	5
3. 1 新入社員の属性（会社：業種含む）	5
3. 2 上司・先輩の属性（会社：業種含む）	8
4. 上司・先輩とのギャップ	10
4. 1 身につけたい能力・スキル	10
4. 2 働く目的	11
4. 3 理想的だと思う上司や先輩	12
5. 新入社員の意識結果	13
5. 1 入社に関する意識	13
(1)会社を選ぶ基準と入社を選択理由	13
(2)入社した会社は第一希望の会社だったか	15
(3)現在の会社を含めた内定社数	15
(4)就職決定に影響を受けた人（こと）	16
(5)仕事をしていく上での不安	17
(6)身につけたい能力・スキル	20
(7)仕事に対する熱意	21
5. 2 働く意識について	22
(1)働く目的	22
(2)魅力的な会社のイメージ、仕事と人間関係のバランス	23
(3)メールを使用するケース	25
(4)できればやりたくない会社の慣習	27
(5)理想的な上司・先輩	28
(6)将来の会社の中での役割【理想と現実】	29
(7)将来実現したい目標・夢	30

(8)独立・転職志向	32
(9)働く会社数	33
(10)仕事と生活のバランス	34
(11)何歳まで働きたいか.....	35
(12)就職に対する意識	36
5. 3 その他	39
(1)これまでの自分・これからの自分・今のビジネスパーソンを例えた色とその理由	39
(2)憧れる経営者	43
(3)社員が生き生きと働いていると思う会社	45
(4)今までに達成感や充実感を感じたとき	46
(5)仕事や職場の悩みを相談したい相手	46
(6)良心に反する仕事を指示された場合	47
(7)何歳までに結婚していると思うか	48
(8)「結婚しないと思う」理由	49
(9)将来、子どもが欲しいと思うか	51
(10)子どもを「特に欲しいと思わない」理由	52
(11)子どもが生まれた場合、仕事を続けたいか	54
(12)パートナーとの家事・育児の理想の分担比率	55
(13)自身の育児休暇取得をどう思うか	55
(14)10年後の日本社会の状況	56

1. 全体のまとめ

本調査から、今年度の新入社員の特徴をまとめ、つぎのとおり結果を整理していく。

1. 新入社員が描く“理想像”と上司・先輩の“意識”にギャップ

新入社員が理想的だと思う上司・先輩像と、上司・先輩の自己評価による日頃の対応・指導の仕方に大きな差があると見受けられる。新入社員が望む上司・先輩像が、「人間的魅力のある上司・先輩」(61.3%)、「仕事について丁寧な指導をする上司・先輩」(49.3%)に対して、上司・先輩の自己評価による意識は、「仕事を任せて見守る上司・先輩」(46.2%)や「部下の意見・要望を傾聴する上司・先輩」(36.5%)である。

新入社員は、人間的魅力をもつ上司・先輩に丁寧に指導してもらうことへの期待が強く、一方で、上司・先輩は、積極的に働きかけていくよりもむしろ、見守ることで新入社員が主体的に成長し「自ら学ぶ・行動する」ことを期待していることが推測される。

<P.12 参照>

2. 会社での人間関係に不安増

仕事をするうえでの不安は、1位「仕事に対する自分の能力」、2位「語学力」となっており、これらは例年上位で変化のない項目である。今年、前年と比較して注目できる項目は、3位「上司との人間関係」(前年4位)、4位「同じ職場の人たちとの人間関係」(前年7位)であり、人間関係のありように不安を感じる新入社員の割合が増えている。この傾向は、この3年の経年変化からも伺える。

さらに、「仕事や職場の悩みを相談したい相手」を尋ねると、「上司」と「社内の先輩」を合わせ、約30%となっている。会社での人間関係がまだ築かれていない新入社員でも、約30%は上司や先輩を相談相手として期待していることがわかる。

上司や先輩は新入社員が相談にやってくるのを待つだけでなく、彼らの心情を察してフォローするような働きかけが必要であると思われる。

<P.17～19 参照>

3. 魅力的な会社は、「実力主義」と「年功主義」がほぼ半々

「実力主義」と「年功主義」の会社のどちらが魅力的かとの問では、今回の調査で、「実力主義」と「年功主義」がほぼ同じ割合となった。2003年は「実力主義」73.5%、「年功主義」23.2%であったが、2003年からの5年間で「実力主義」の比率が年々下がっていることがわかる。

<P.23 参照>

4. 「仕事重視派」減少でバブル期と似た傾向に

仕事と生活のバランスをどうとりたいかについて、バブル期入社組（1989年）、氷河期入社組（2000年）と今年入社組の3世代に尋ねたところ、圧倒的に氷河期入社組は「仕事重視」傾向が強いことがわかった。バブル期と今年入社組は似たような傾向を示しているものの、氷河期に比べると「仕事重視」（仕事優先+どちらかといえば仕事優先）の割合が10ポイントほど低くなっている。

バブル期入社組と今年の新入社員の傾向が似ているとはいえ、社会的に「ワークライフバランス」への意識が高まっている環境下では、バブル期入社組の意識とは本質的に異なるものと推測される。企業側は、今後、仕事と生活のバランスに配慮した人事施策をとることが望まれる。

<P.34 参照>

5. 「身につけたい能力・スキル」「身につけてもらいたい能力・スキル」にギャップ

「新入社員が入社3年以内に身につけたい能力・スキル」と「上司・先輩が新入社員に見つけてもらいたい能力・スキル」について、両者の大きな差が注目される項目は、上司・先輩が最も重視する「仕事の基本動作（報告・連絡・相談など）」と、新入社員が重視する「専門的知識・技術力」「語学力」である。

「入社3年以内に身につけたい能力・スキル」を尋ねているため、仕事をしていく上での基礎固めが中心であるのは、両方で意識が一致しているものの、上司・先輩は、仕事の基本的なことを身につけてもらいたいと強く考えているのに対し、新入社員は、専門的知識・技術力を身につけて早く一人前になろうとしている志向が強いと思われる。

したがって、仕事の基本事項の大切さを気づかせながら、専門的知識を学ぶ機会を与えていくと、新入社員のモチベーションが向上すると思われる。

<P.10 参照>

2. 調査の目的と方法

2. 1 調査の目的

「新入社員が会社や社会に対してどのような意識や価値観を持っているか」を分析し、今後の新入社員フォローアップに役立てることを目的とする。

なお、本調査は1982度から実施。継続して実施しており、共通の質問項目については時系列比較を行っている。

今回は、上司・先輩にも初めて意識調査を行った。また、バブル期入社組（1989年）、就職氷河期入社組（2000年）と今年入社組の3世代を比較し、環境変化による新入社員の意識の変遷についても分析している。

2. 2 調査の対象

- ① 新入社員：社団法人日本能率協会及び株式会社日本能率協会マネジメントセンターが実施している新入社員研修に参加した新入社員
- ② ①の上司・先輩

2. 3 調査方法

- ① 新入社員：研修実施時に調査表を配布し、記入・回収した。
- ② 上司・先輩：ファックス調査

2. 4 調査期間

2007年3月27日～4月20日

2. 5 新入社員調査票回収状況

図表 2.5.1 調査票回収状況

	2007年度	
男性	871人	72.6%
女性	325人	27.1%
無回答	4人	0.3%
合計	1200人	100%

【参考】

	2006年度		2005年度		2004年度		2003年度	
男性	592人	68.6%	660人	72.1%	537人	73.8%	338人	61.7%
女性	268人	31.1%	252人	27.5%	187人	25.7%	206人	37.6%
無回答	3人	0.3%	4人	0.4%	4人	0.5%	4人	0.7%
合計	863人	100%	916人	100%	728人	100%	548人	100%

2. 6 調査項目

調査項目は次の通りである。なお、時系列比較を行っている調査項目は末尾に※を付した。

I 入社に関する意識

- ・会社を選ぶ基準と入社を選択理由
- ・入社した会社が第一希望かどうか
- ・内定社数
- ・就職決定に影響を受けた人（こと）
- ・仕事をしていく上での不安(※)
- ・身につけたい能力・スキル
- ・仕事に対する熱意

II 働く意識

- ・働く目的
- ・魅力的な会社のイメージ、仕事と人間関係のバランス
- ・メールを使用するケース
- ・できればやりたくない会社の慣習・風習
- ・理想的な上司・先輩
- ・将来の会社の中での役割【理想と現実】
- ・将来実現したい目標・夢
- ・独立・転職志向とその目的(※)
- ・仕事と生活のバランス
- ・何歳まで働きたいか
- ・就職活動に臨んだときの気持ち(※)、フリーター／ニートに対する意識

III その他（ビジネス全般）について

- ・これまでの自分・これからの自分・今のビジネスパーソンを例えた色とその理由
- ・憧れる経営者（F A）
- ・「社員が楽しそうに働いていると思う会社」の具体例（F A）
- ・今までに感じた達成感や充実感
- ・悩みを相談したい相手
- ・良心に反する仕事を指示されたときの対応
- ・結婚希望年齢と結婚したくない理由
- ・子供を持つことへの意識
- ・仕事と育児、パートナーとの家事／育児分担比率
- ・10年後の日本社会の状況とその理由

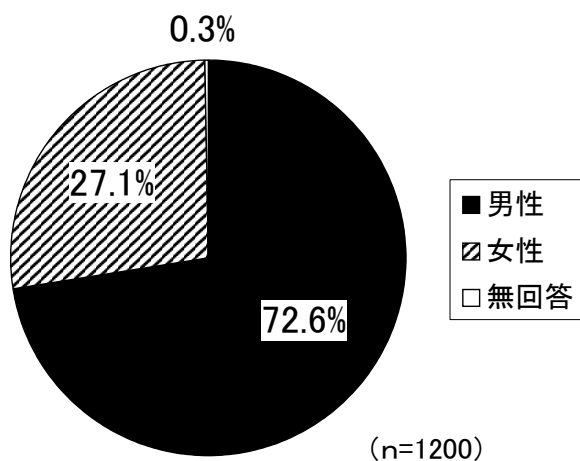
◎ F A : 自由回答のことを示す（図表も同様）

3. 調査対象者

3. 1 新入社員の属性（会社：業種含む）

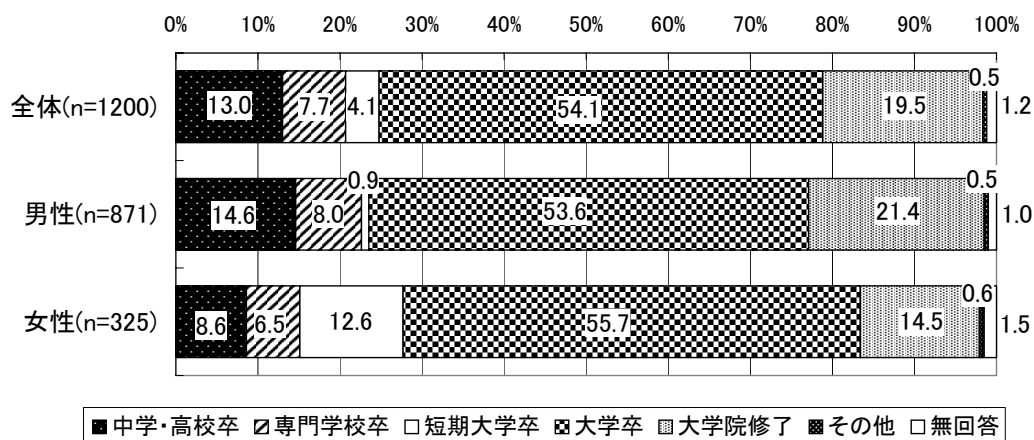
回答者の属性を性別で見ると、「男性」が72.6%、「女性」が27.1%である。なお、平均年齢は22.5歳である。

図表 3.1.1 性別



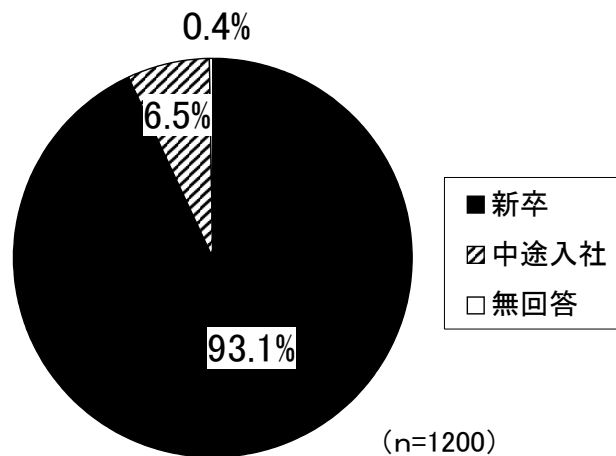
最終学歴は、全体では、「大学卒」が54.1%を占める。他、「大学院修了」19.5%、「中学・高校卒」13.0%、「専門学校卒」7.7%、「短期大学卒」4.1%である。

図表 3.1.2 最終学歴



入社形態は、「新卒」が 93.1%を占める。

図表 3.1.3 入社形態



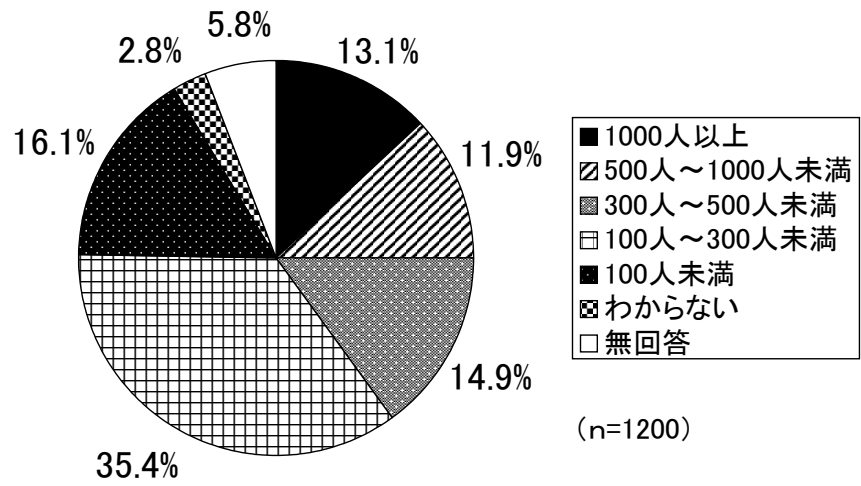
入社した会社の業種は「その他製造業」がもっとも多く 15.8%、ついで「繊維・パルプ・紙・化学・薬品」が 10.6%を占める。

図表 3.1.4 業種

調査数	割合
農林・水産・食料品	3.7%
建設・エンジニアリング	6.8%
繊維・パルプ・紙・化学・薬品	10.6%
石油・ゴム・ガラス・鉱業	2.5%
鉄鋼・金属・非金属	5.9%
電気機器	7.4%
精密機器・輸送機器	7.2%
その他製造業	15.8%
金融・証券・保険・不動産	3.2%
倉庫・運輸	2.9%
通信	2.1%
電気・ガス・水道	2.8%
その他サービス業	9.3%
情報処理	4.7%
官公庁・団体・学校・病院	5.4%
その他	7.4%
無回答	2.5%

従業員数は 100 人～300 人規模が 35.4%を占め、最も多い。

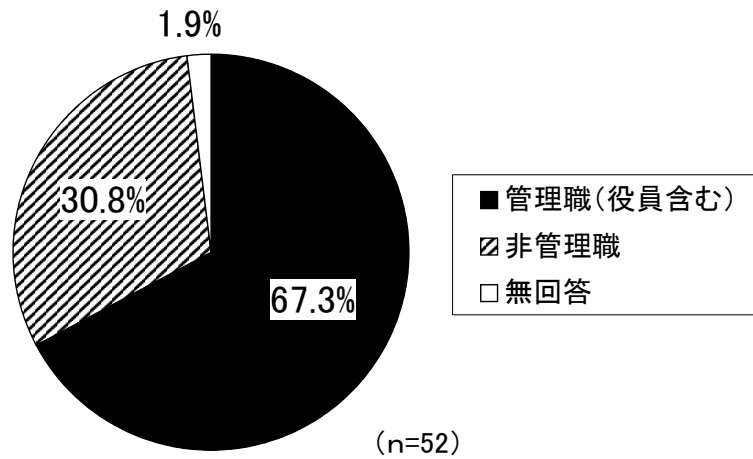
図表 3.1.5 従業員数



3. 2 上司・先輩の属性（会社：業種含む）

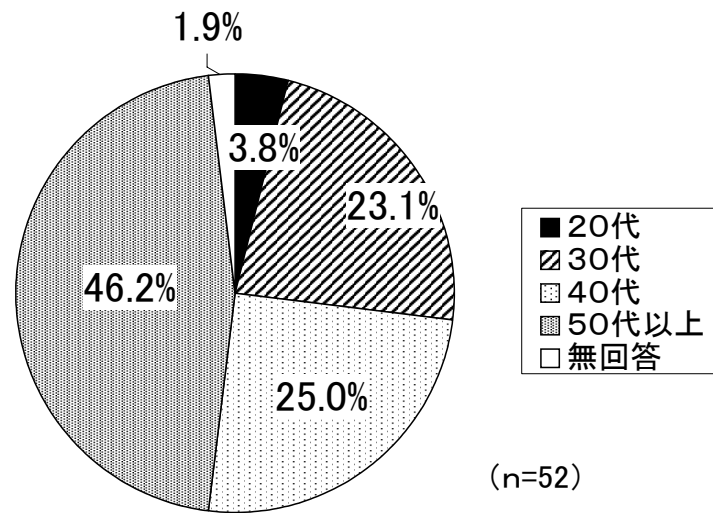
回答者の属性は、「管理職（役員含む）」が 67.3%、「非管理職」が 30.8%である。

図表 3.2.1 役職



年齢別は、50代以上がもっとも多く 46.2%、ついで 40代が 25.0%、30代が 23.1%、20代が 3.8%である。

図表 3.2.2 年齢



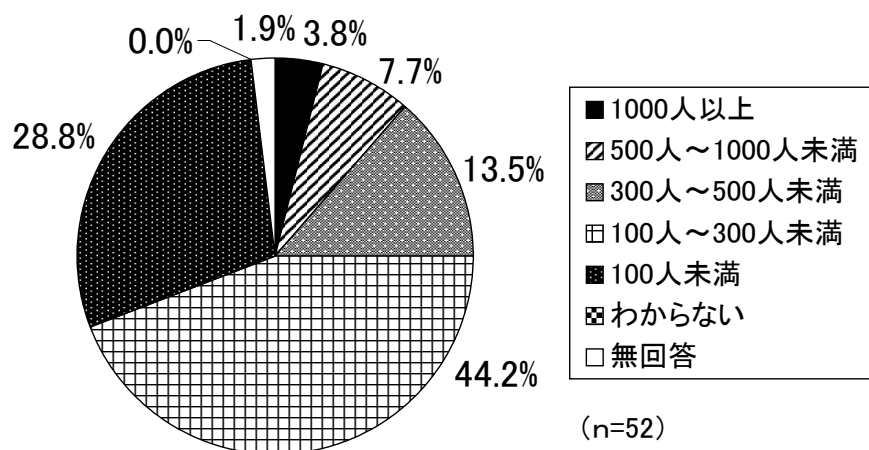
会社の業種は「その他サービス業」がもっとも多く 32.7%、ついで「精密機器・輸送機器」「その他製造業」がそれぞれ 9.6%を占めている。

図表 3.2.3 業種

調査数	52
農林・水産・食料品	3.8%
建設・エンジニアリング	3.8%
繊維・パルプ・紙・化学・薬品	5.8%
石油・ゴム・ガラス・鉱業	-
鉄鋼・金属・非金属	3.8%
電気機器	5.8%
精密機器・輸送機器	9.6%
その他製造業	9.6%
金融・証券・保険・不動産	1.9%
倉庫・運輸	5.8%
通信	1.9%
電気・ガス・水道	1.9%
その他サービス業	32.7%
情報処理	3.8%
官公庁・団体・学校・病院	5.8%
無回答	3.8%

従業員数は 100 人～300 人規模が 44.2%を占め、最も多い。

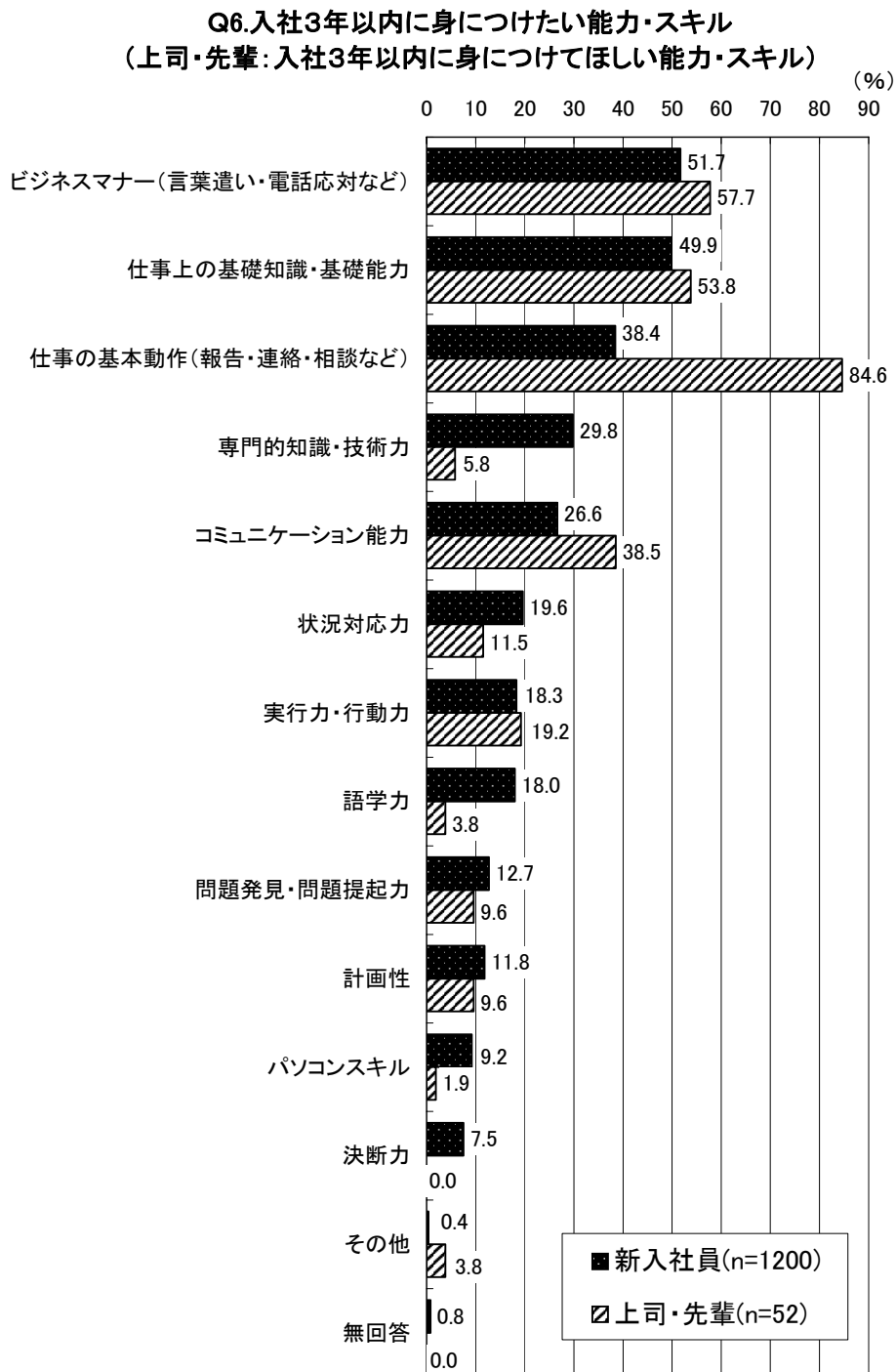
図表 3.2.4 従業員数



4. 上司・先輩とのギャップ

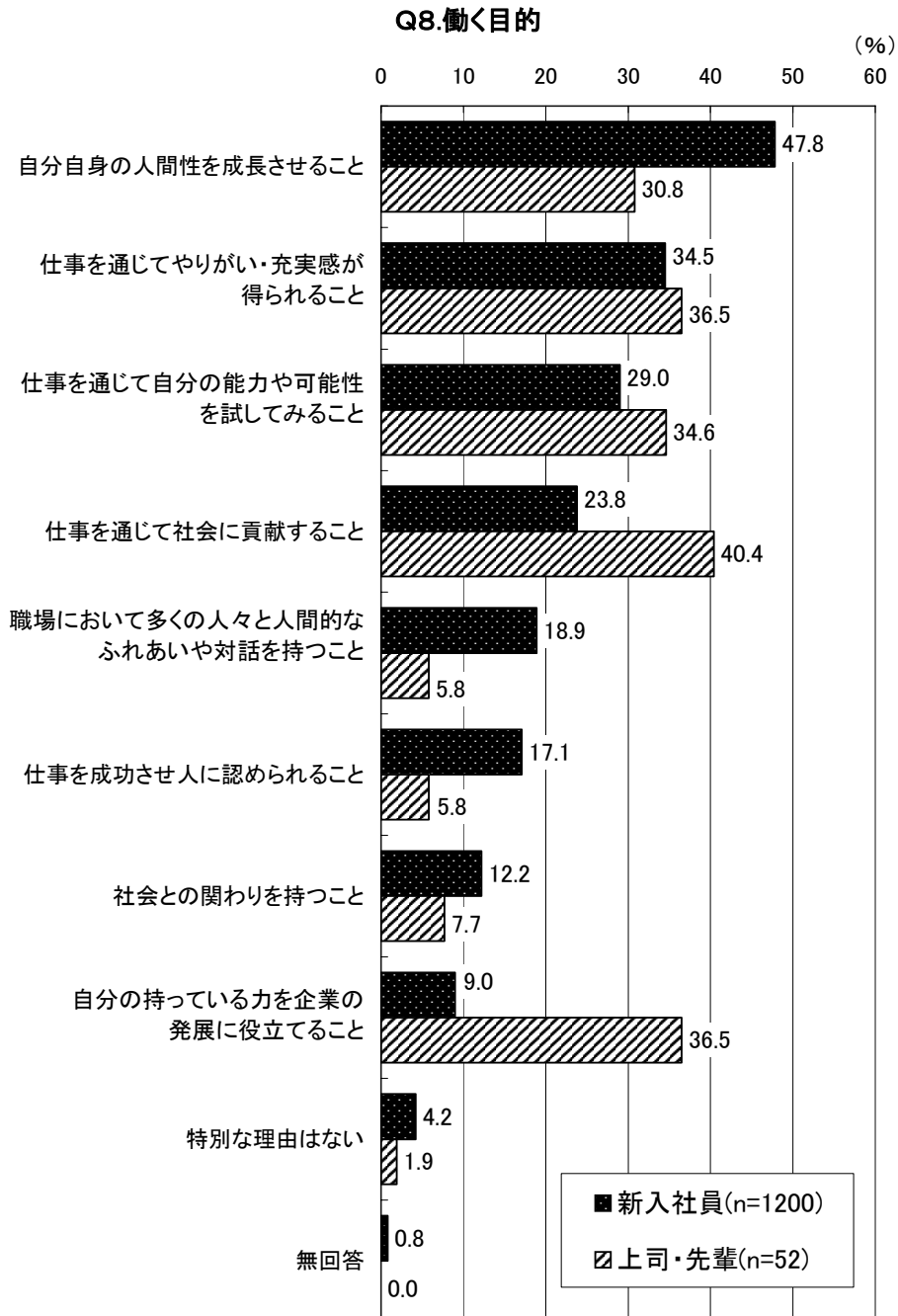
4.1 身につけたい能力・スキル

入社3年以内に身につけたい能力・スキルについてみると、特に顕著なのは、上司・先輩は、圧倒的に「仕事の基本動作（報告・連絡・相談など）」が84.6%に対し、新入社員では38.4%（3位）であり、両者のギャップが大きくなっていることがわかる。一方、新入社員は、「専門的知識・技術力」を重視する割合は29.8%であり、上司・先輩の5.8%よりも大幅に高くなっている。



4. 2 働く目的

働く目的についてみると、新入社員は「自分自身の人間性を成長させること」が最も高くなっており、上司・先輩は、「仕事を通じて社会に貢献すること」が最上位にきている。

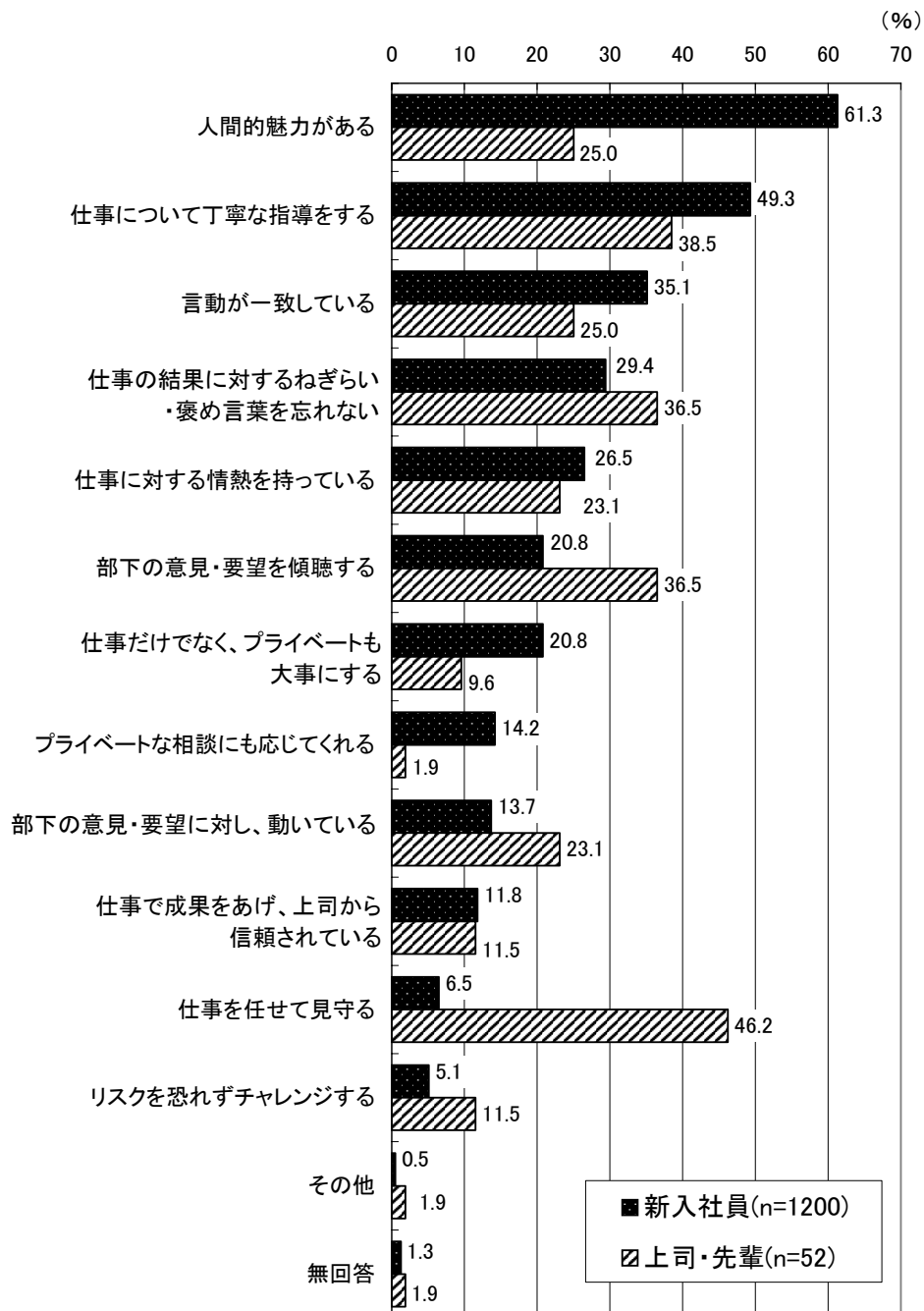


4. 3 理想的だと思う上司や先輩

理想だと思う上司や先輩についてみると、新入社員は「人間的魅力がある」が最も多く、上司や先輩とのギャップが大きい。一方、上司や先輩は、「仕事を任せて見守る」が最も多かった。

Q13.理想的だと思う上司や先輩
(上司・先輩:新入社員への日ごろの対応や接し方)

※新入社員の回答の多い順



5. 新入社員の意識結果

5. 1 入社に関する意識

(1)会社を選ぶ基準と入社を選択理由

① 会社を選ぶ基準

全体では「やりたい仕事ができる業種」「やりたい仕事ができる職種」の順となっており、性別でみると、女性では「雰囲気のよい会社」の比率がやや高くなっている。

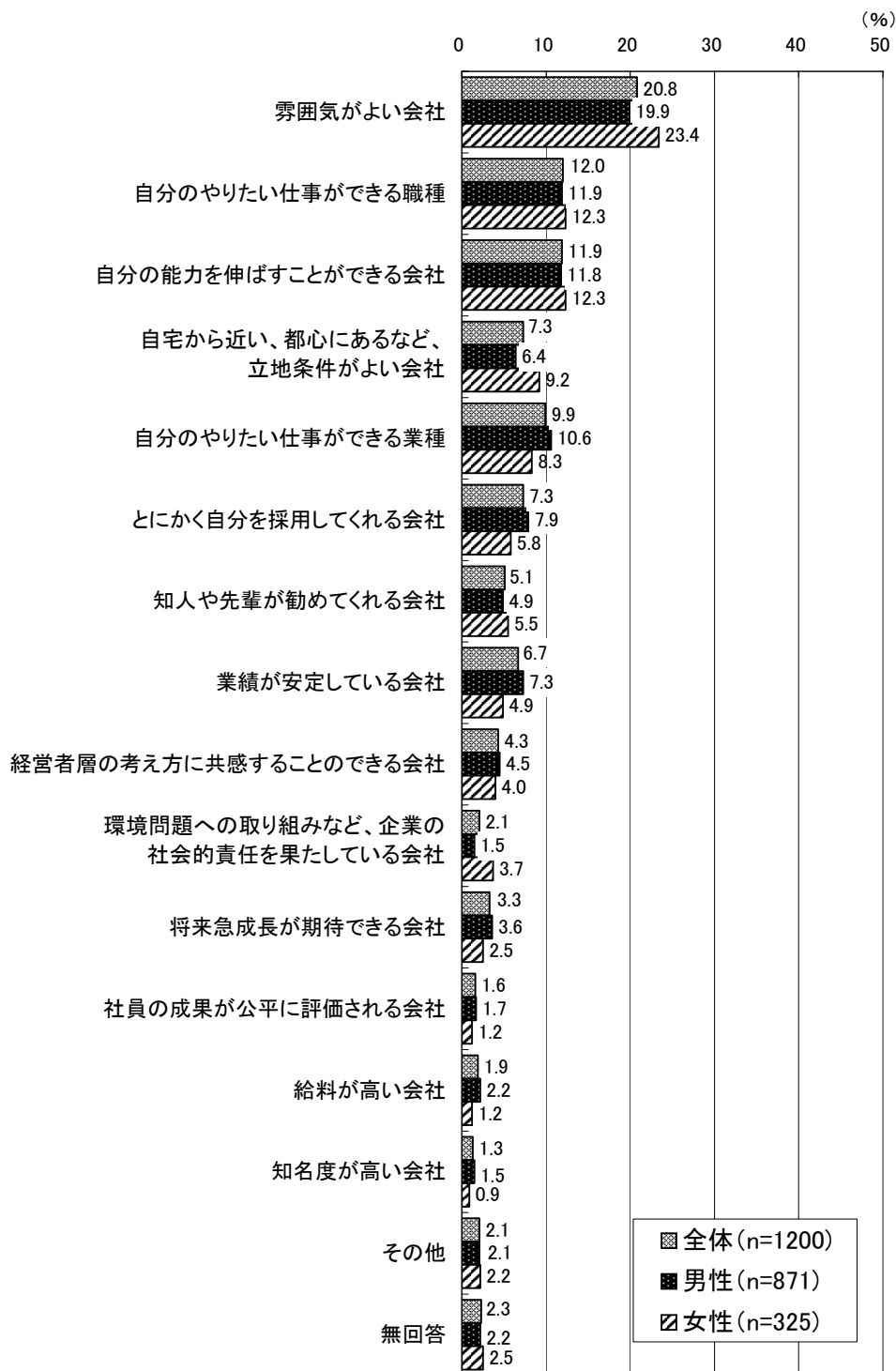
Q1.①就職にあたって会社を選ぶ基準としていたことは何ですか (%)



② 入社を選択理由

全体では「雰囲気がよい会社」が最上位となっており、性別で見ると、特に女性で「雰囲気がよい会社」の値が高くなっている。

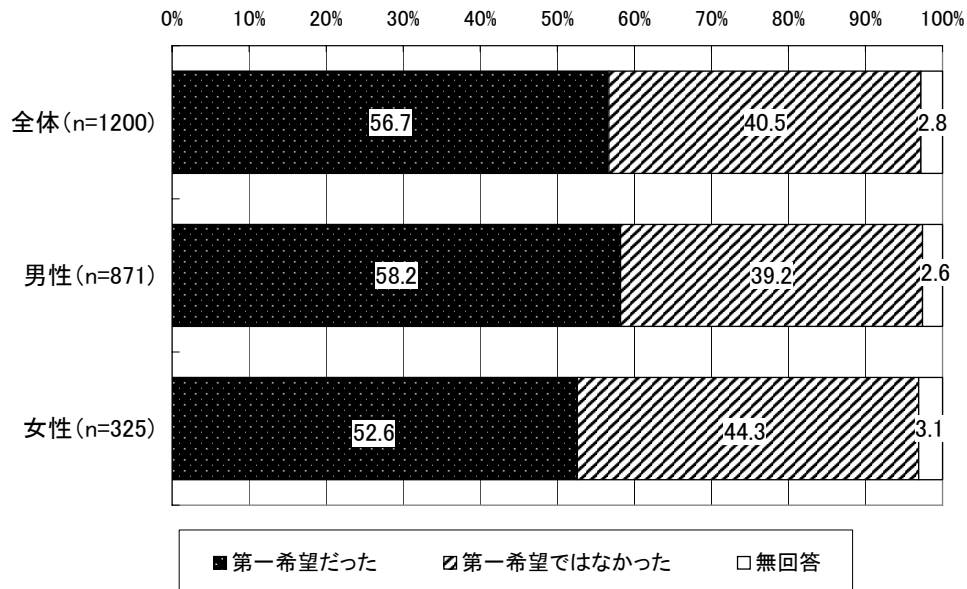
Q1. ②今の会社への入社を選択した理由は何ですか



(2)入社した会社は第一希望の会社だったか

全体では、「第一希望」が56.7%を占め、男性の方が女性よりもやや「第一希望」の割合が低くなっている。

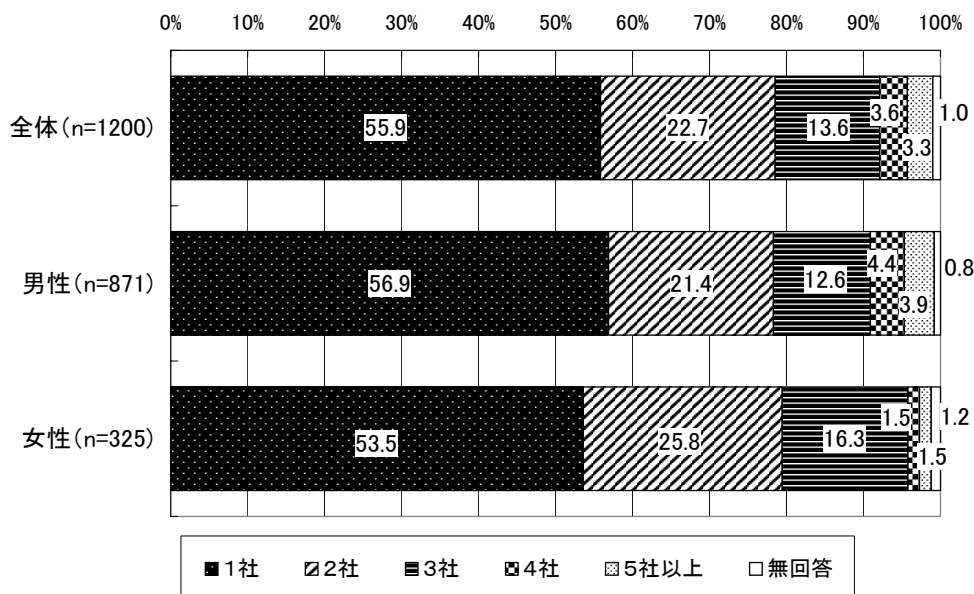
Q2.あなたが入社した会社は、あなたにとって第一希望の会社でしたか



(3)現在の会社を含めた内定社数

全体では、現在の会社を含めた内定社数は「1社」が最も多く、55.9%を占める。

Q3.現在の会社を含めた内定社数はどのくらいですか

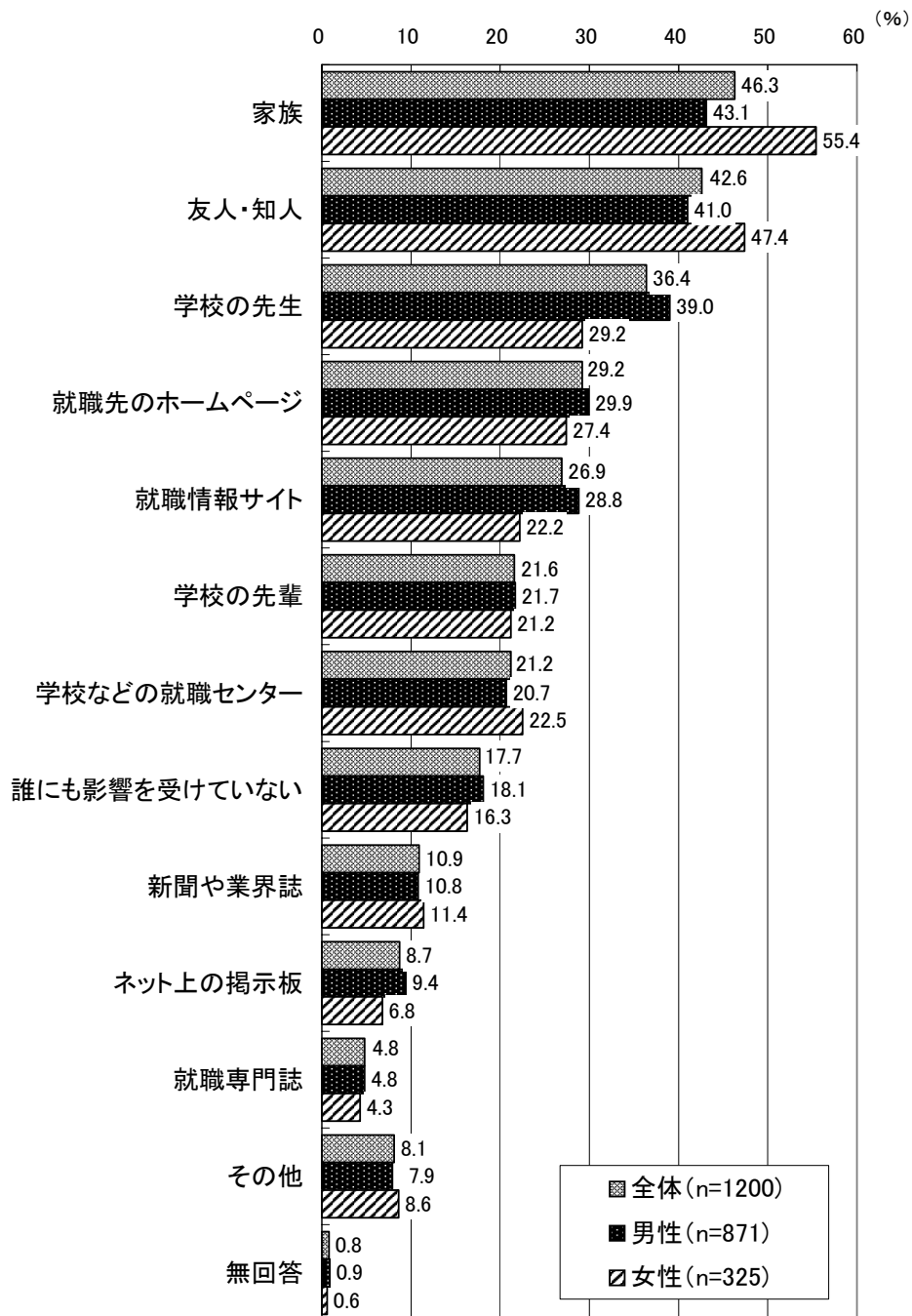


(4)就職決定に影響を受けた人（こと）

就職決定に影響を受けたのは、「家族」「友人・知人」が上位にきており、特に女性ではその割合が高くなっている。一方、「就職先のホームページ」や「就職情報サイト」なども、高い影響を与えているものと思われる。

Q4.あなたが就職を決定する時に、影響を受けたのは誰(何)ですか

*上位3つを選択

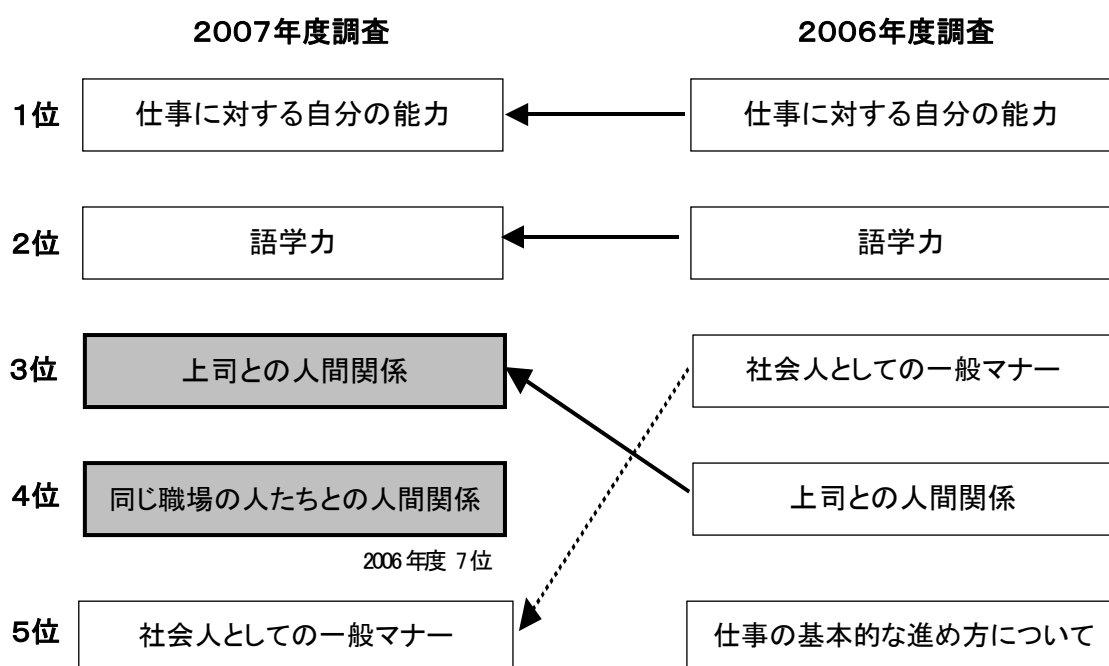


(5)仕事をしていく上での不安

全体では「仕事に対する自分の能力」「語学力」が不安項目の上位に上がっている。昨年度(2006年度)調査と比較すると、今年度も1位と2位は変わらず、「上司との人間関係」「同じ職場の人達との人間関係」の順位が上昇している。これらの項目は、ここ3カ年で増加している傾向である。

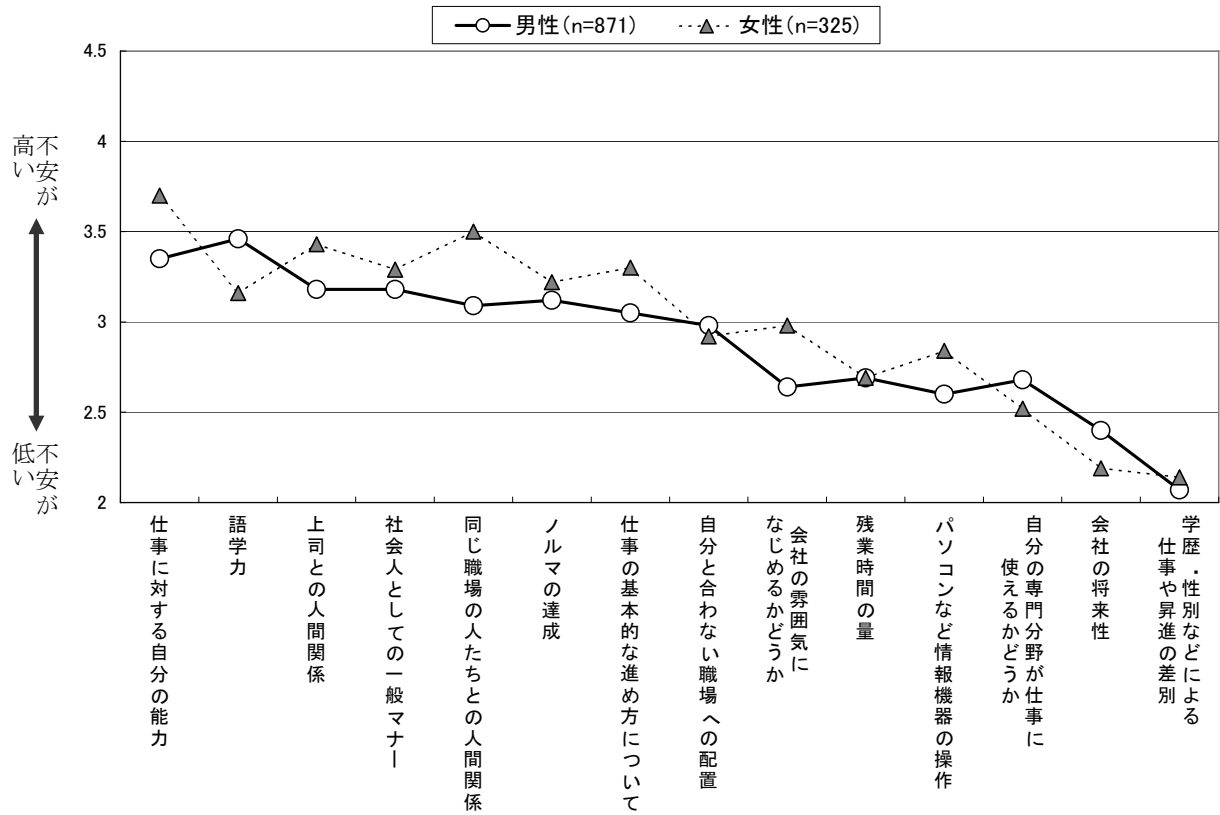
性別で見ると、男性に比べて女性は、「仕事に対する自分の能力」や「同じ職場の人達との人間関係」に対する不安を感じる割合が増えていることがわかる。

Q5. これから仕事をしていく上で、どの程度の不安がありますか



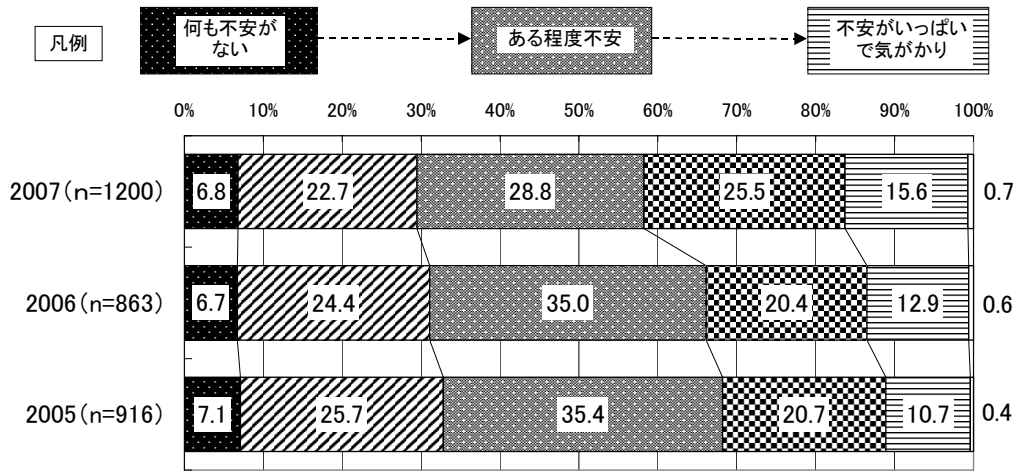
※上位5位までの記載
(14項目について質問している)

Q5. これから仕事をしていく上で、どの程度の不安がありますか

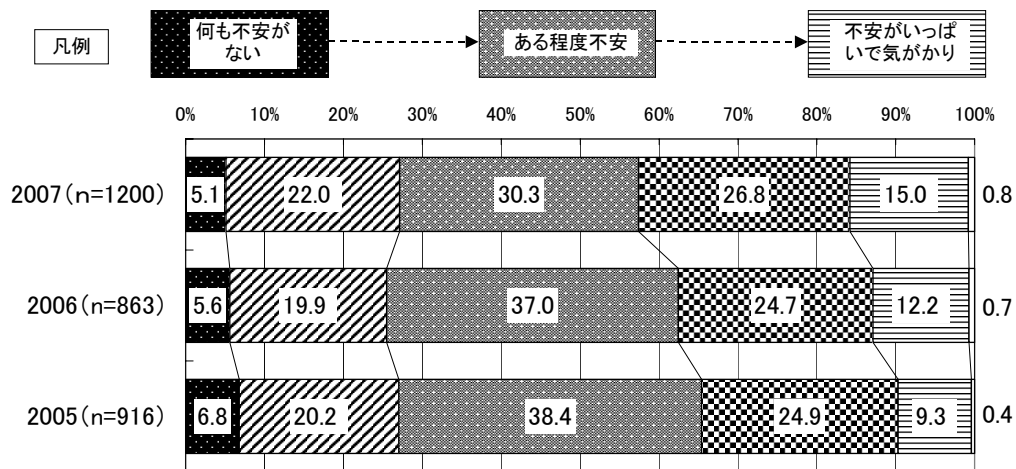


* 点数が高いほど不安が高い

Q5-2. 同じ職場の人たちとの人間関係(3カ年比較)



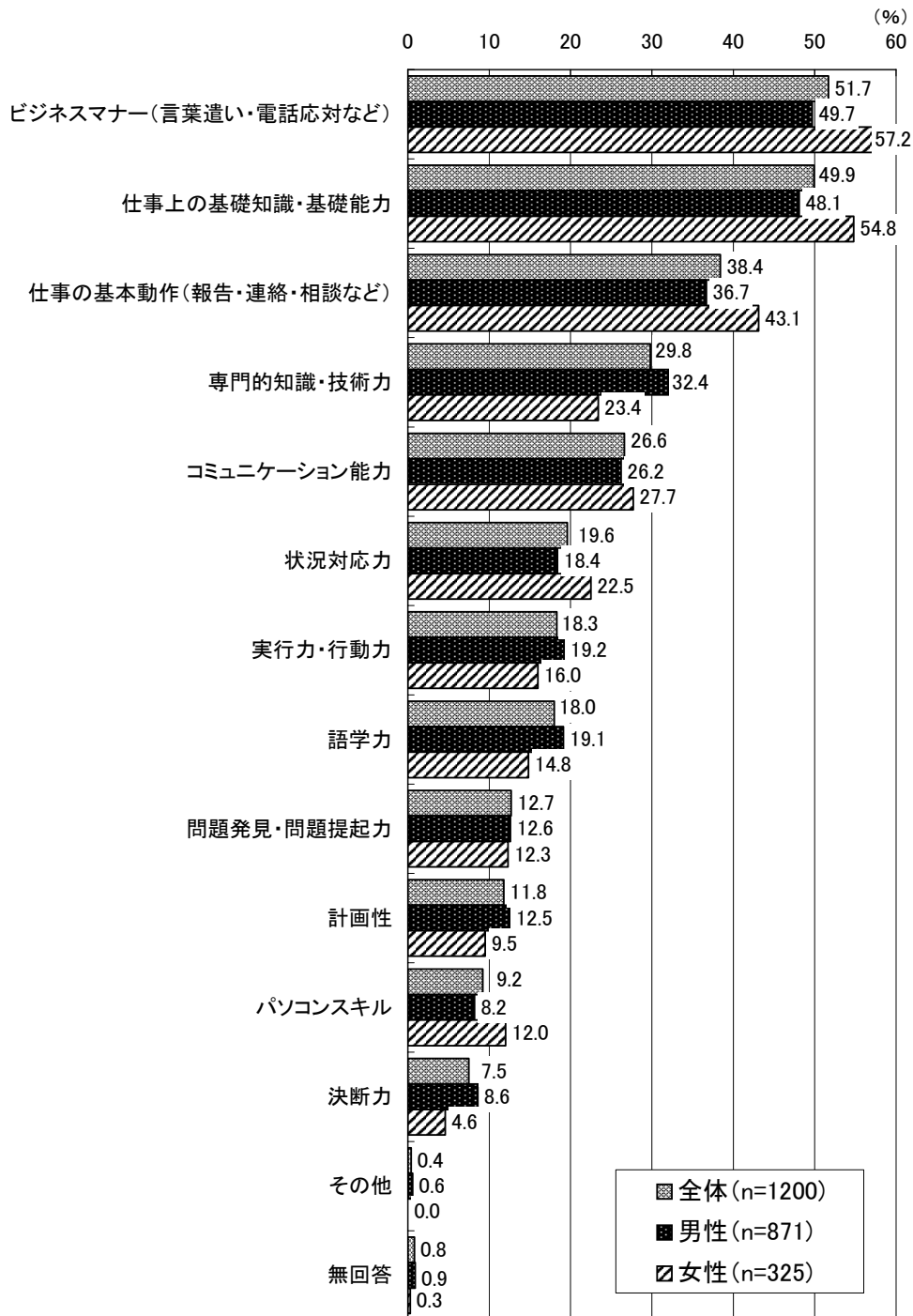
Q5-3. 上司との人間関係(3カ年比較)



(6)身につけたい能力・スキル

入社3年以内に身につけたい能力・スキルについてみると、「ビジネスマナー（言葉遣い・電話応対など）」「仕事上の基礎知識・基礎能力」「仕事の基本動作（報告・連絡・相談など）」が上位となっている。

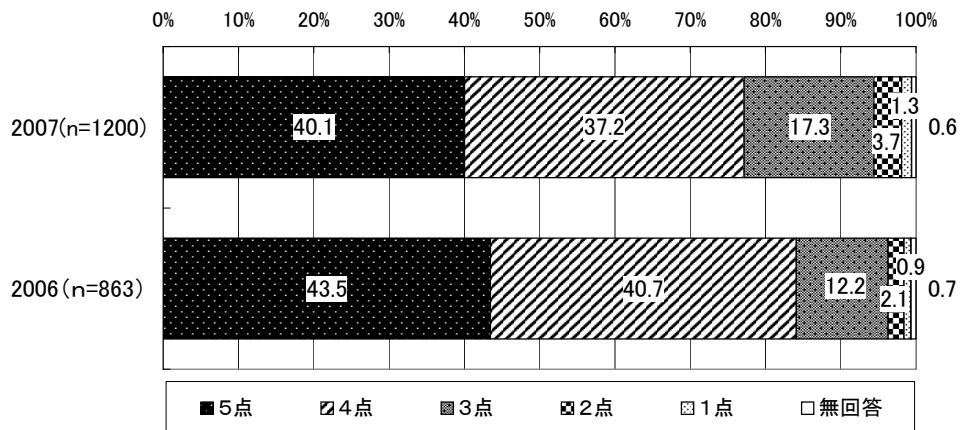
Q6.入社3年以内に身につけたい能力・スキルはどれですか



(7)仕事に対する熱意

前回は、「5点」と「4点」を合わせた割合が8割以上を占めていたが、今回はその割合が8割をきっている。

Q7.あなたがこれから仕事をするにあたって、今の『熱意・やる気』は5点満点で何点ですか

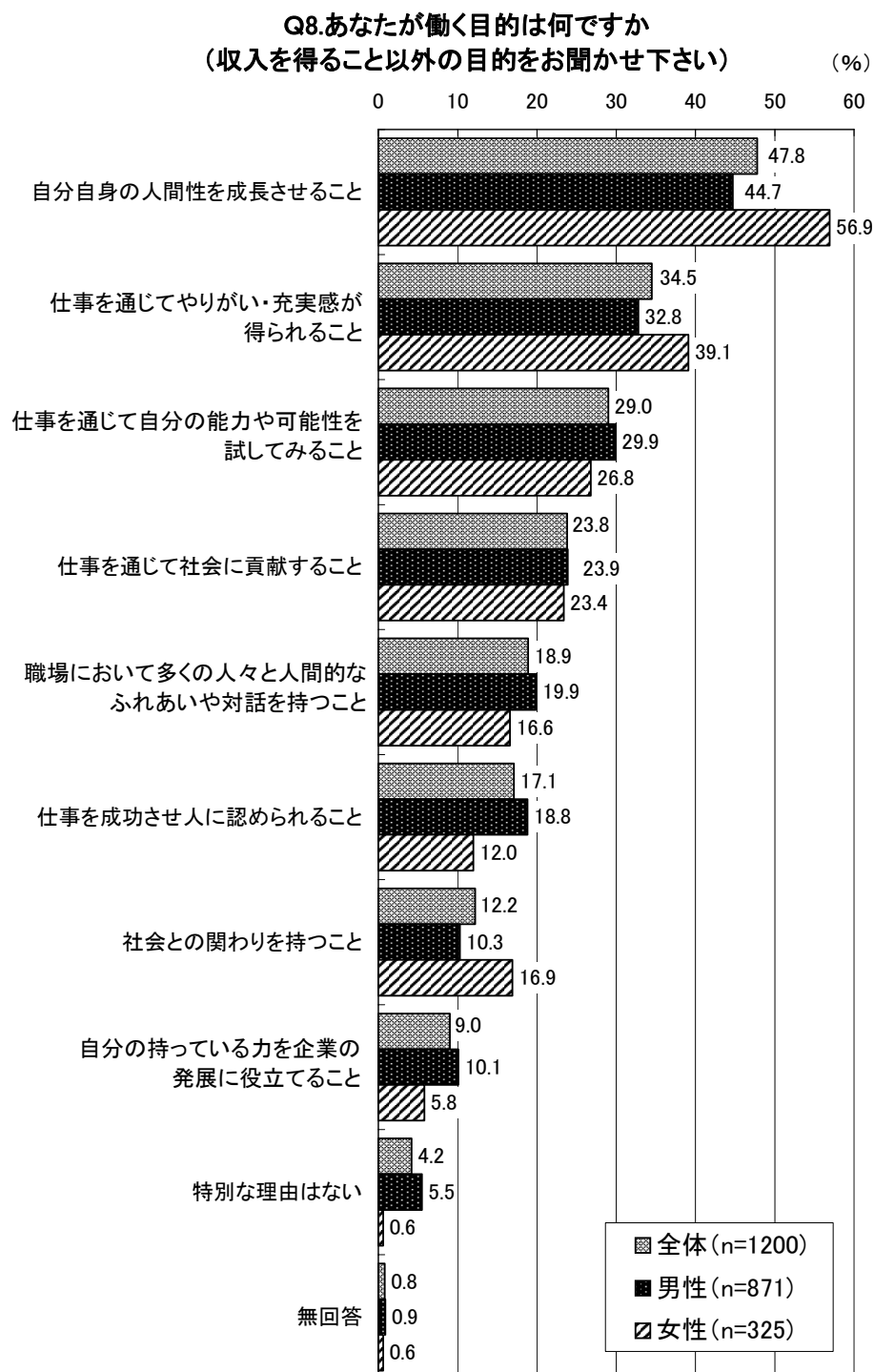


5. 2 働く意識について

(1)働く目的

「働く目的」(※第2位まで選択)をみると、全体では「自分自身の人間性を成長させること」の割合が最も高く、次に「仕事を通じてやりがい・充実感が得られること」が続いている。

性別でみると、男性に比べて女性で「自分自身の人間性を成長させること」が10ポイント以上高くなっている。

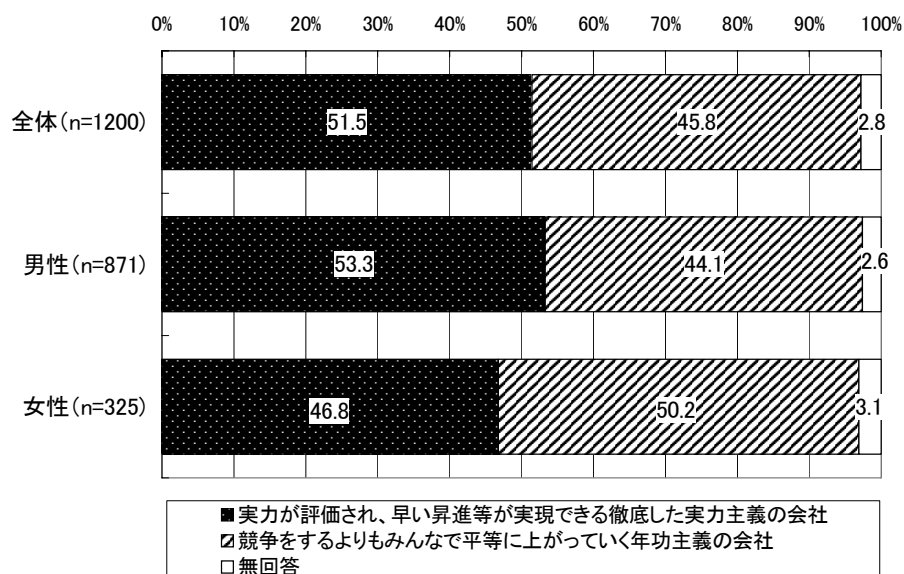
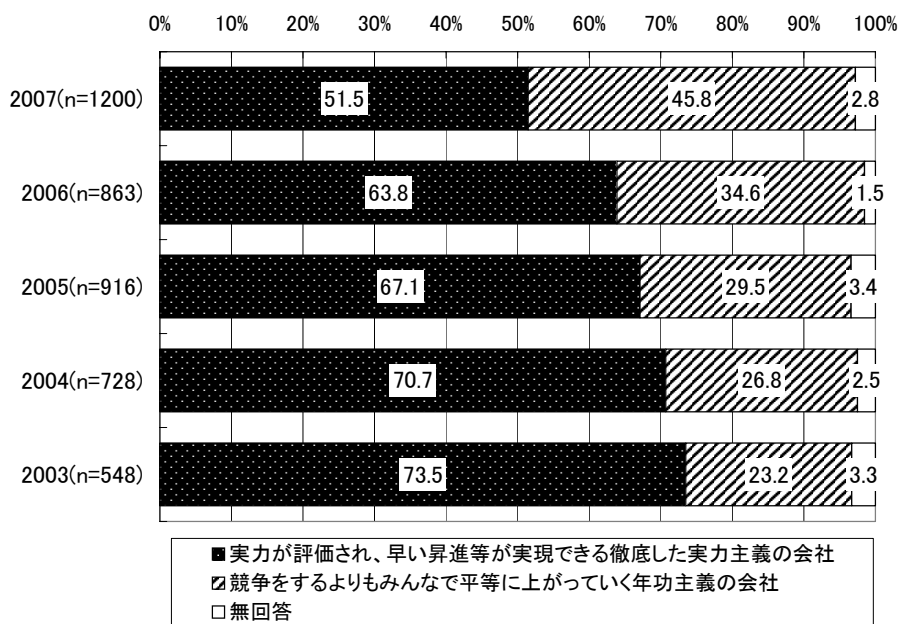


(2)魅力的な会社のイメージ、仕事と人間関係のバランス

①魅力的な会社のイメージ

5カ年を比較すると、「実力のある人が評価される徹底した実力主義の会社」が年々減り、今回は51.5%まで下がっており、「みんなで平等に上がっていく年功主義の会社」の45.8%と近い結果となっている。性別でみると、女性より男性において「徹底した実力主義の会社」の比率が約7ポイント上回っている。

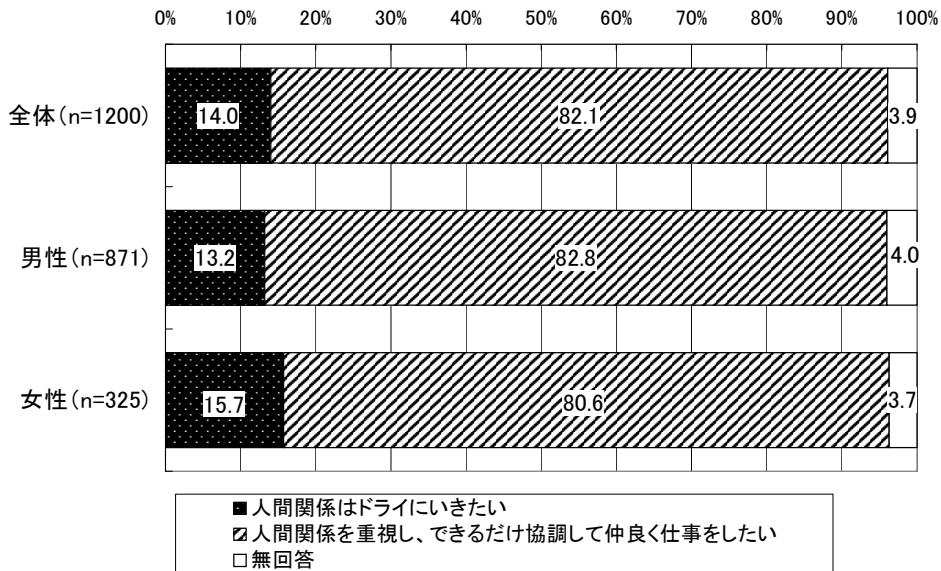
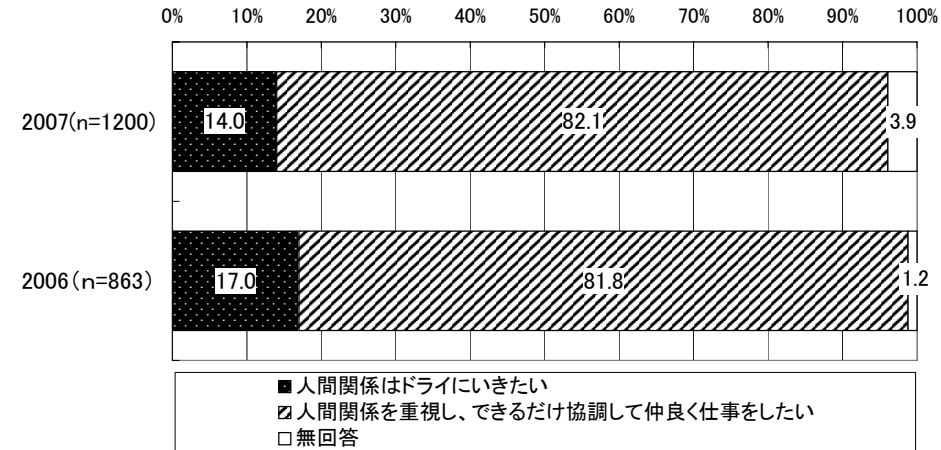
Q9. 次のような会社でどちらが魅力的ですか



②仕事と人間関係のバランス

仕事と人間関係のバランスについては、昨年同様、「人間関係重視」が8割以上を占めている。男女とも、同様の傾向である。

Q10. あなたは、仕事と人間関係のバランスをどのように取りたいと思いますか

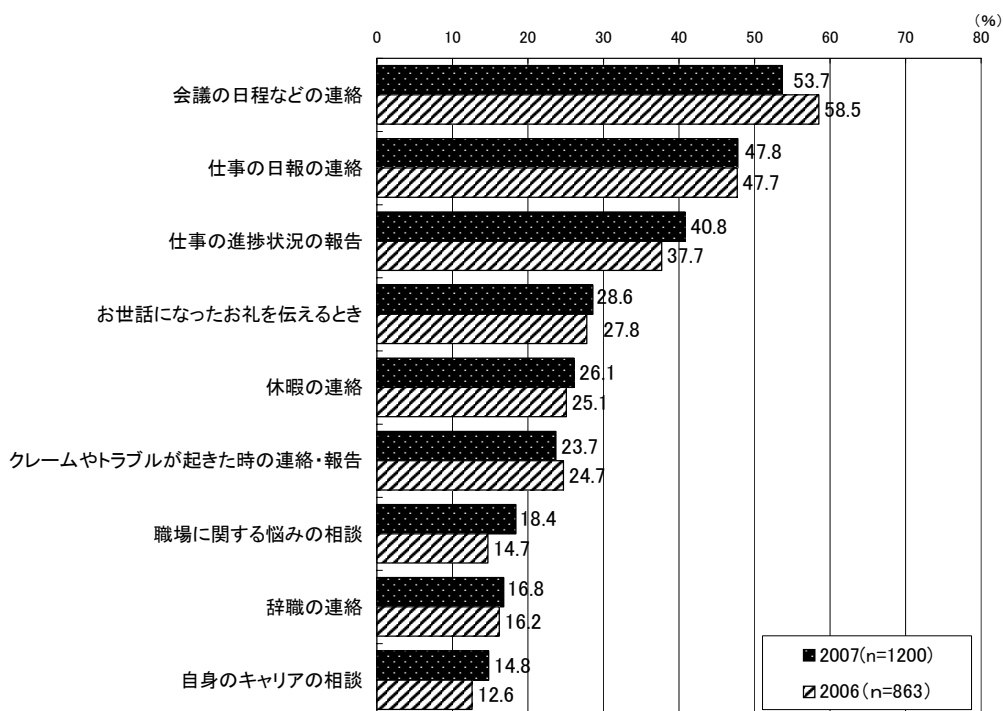


(3)メールを使用するケース

①上司に対して

全体では、昨年同様、「会議の日程などの連絡」「仕事の日報の連絡」等、連絡や報告に関する項目が上位にあがっている。

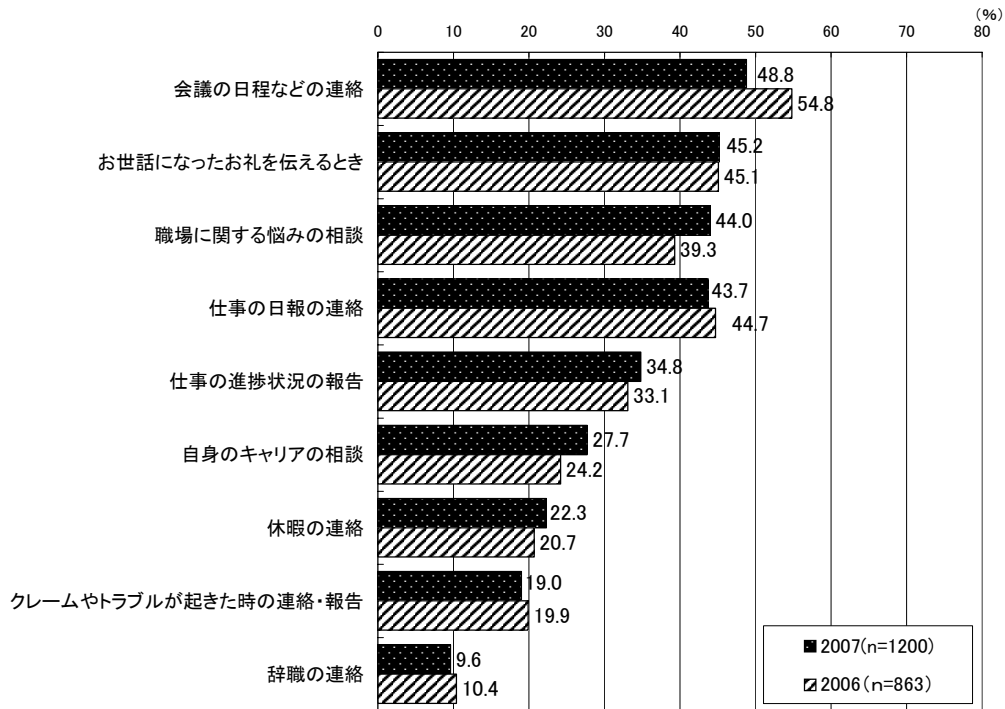
Q11. あなたは、自分の上司や先輩に相談や連絡をする際、どのような場合にメールを使いますか



②先輩に対して

全体では、昨年同様、「会議の日程などの連絡」「お世話になったお礼」が上位にあがっている。「職場に関する悩みの相談」は、昨年よりも約5ポイント高くなっている。

Q11. あなたは、自分の上司や先輩に相談や連絡をする際、
どのような場合にメールを使いますか

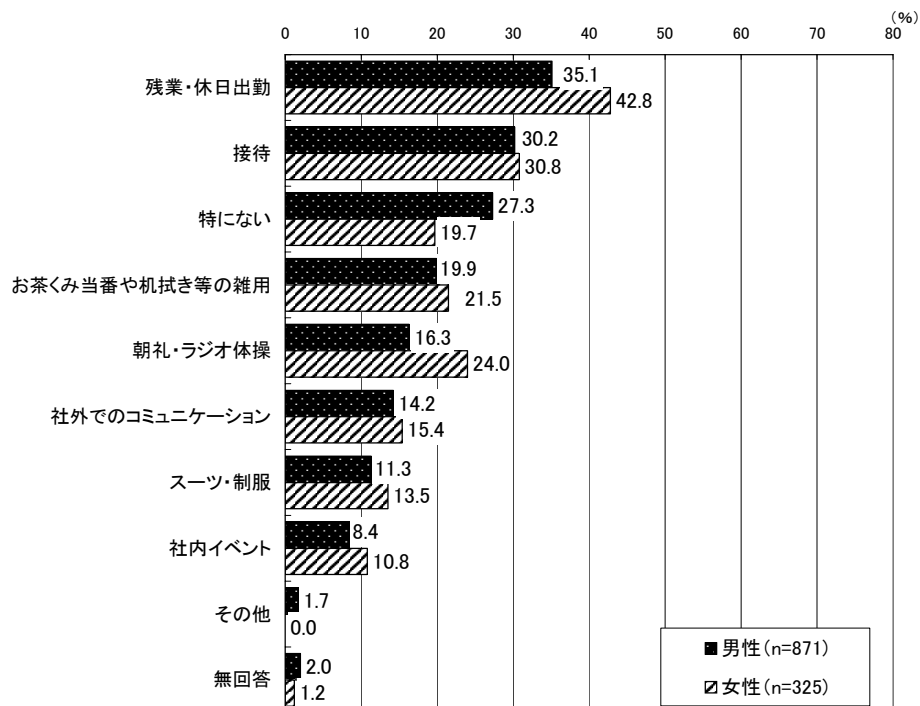
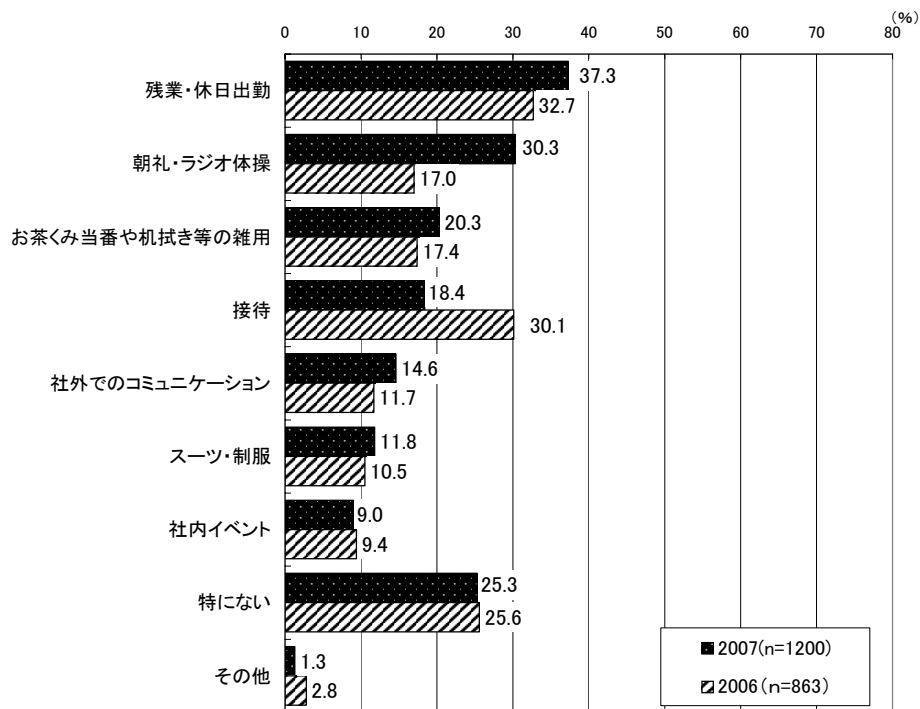


(4)できればやりたくない会社の慣習

「残業・休日出勤」と「朝礼・ラジオ体操」が3割程度と同程度で高い一方で、「特にない」も25.3%と、比較的高い数値となっている。

前回と比べると、「朝礼・ラジオ体操」が高くなり、「接待」が低くなっている。

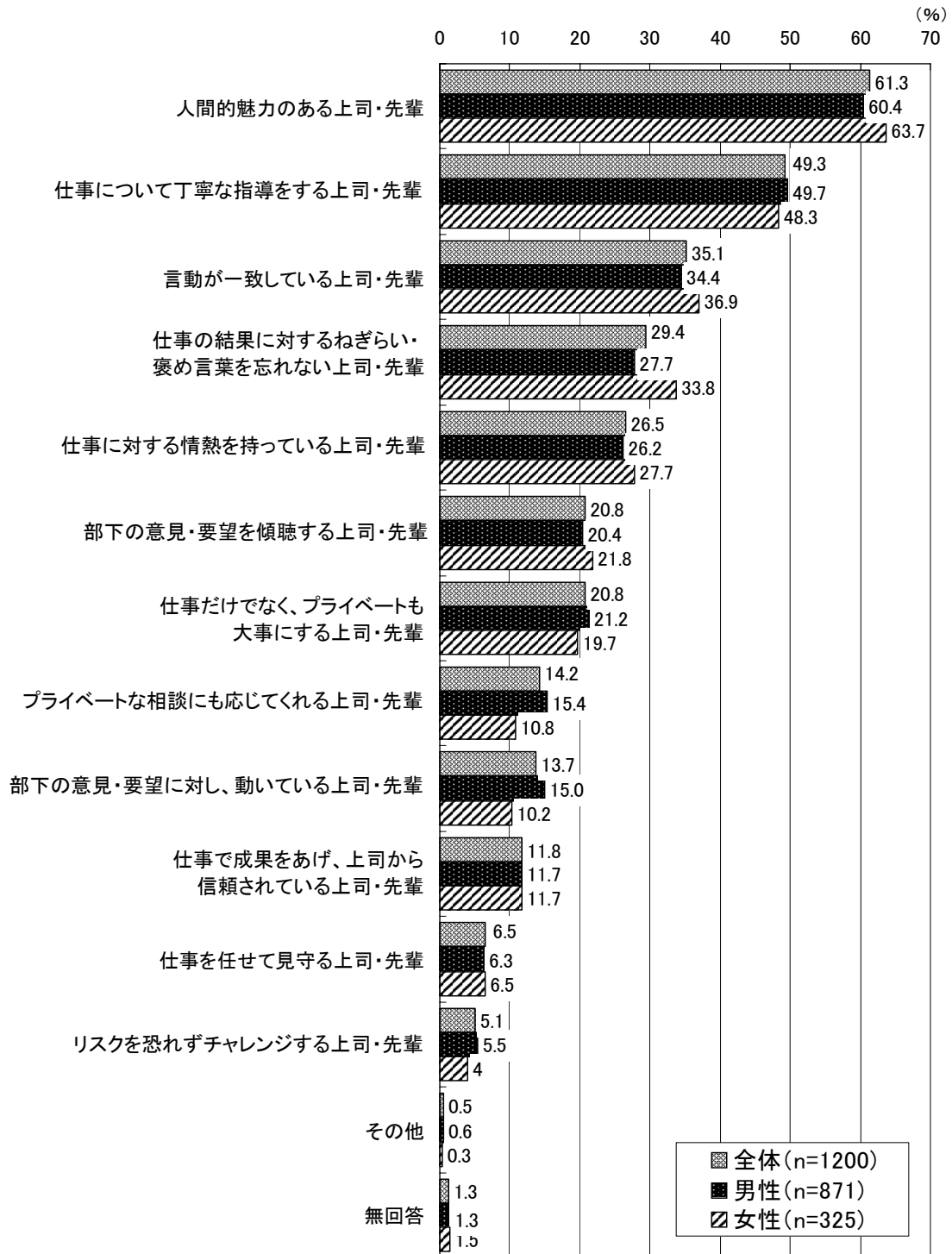
Q12. あなたはこれから働くにあたって、できればやりたくない会社の風習や慣習はありますか



(5)理想的な上司・先輩

理想的だと思う上司や先輩は、男女とも、「人間的魅力のある上司・先輩」が最上位である。

Q13. あなたが理想的だと思うのはどのような上司や先輩ですか



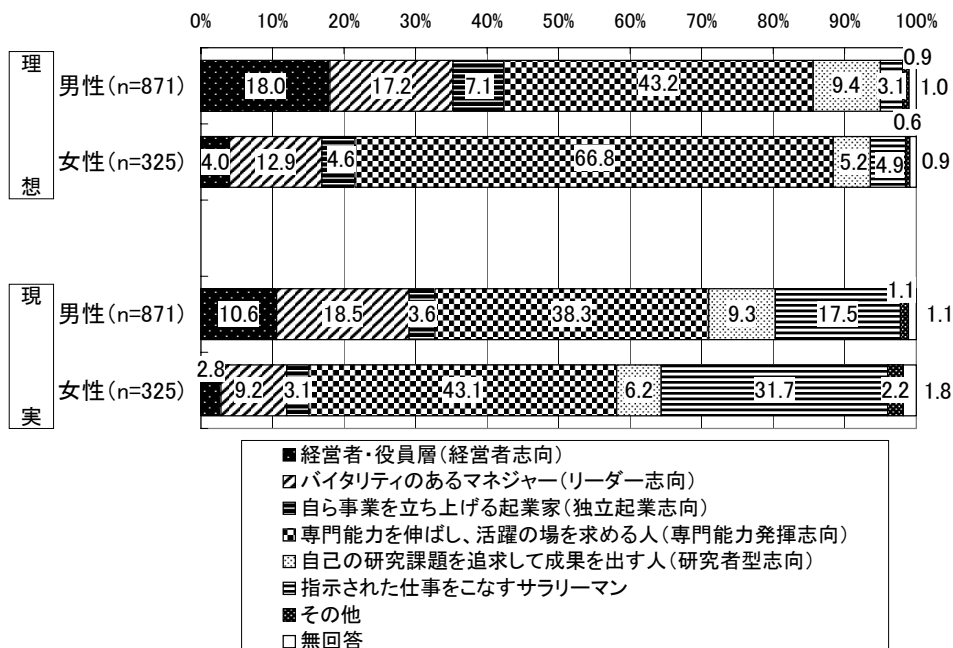
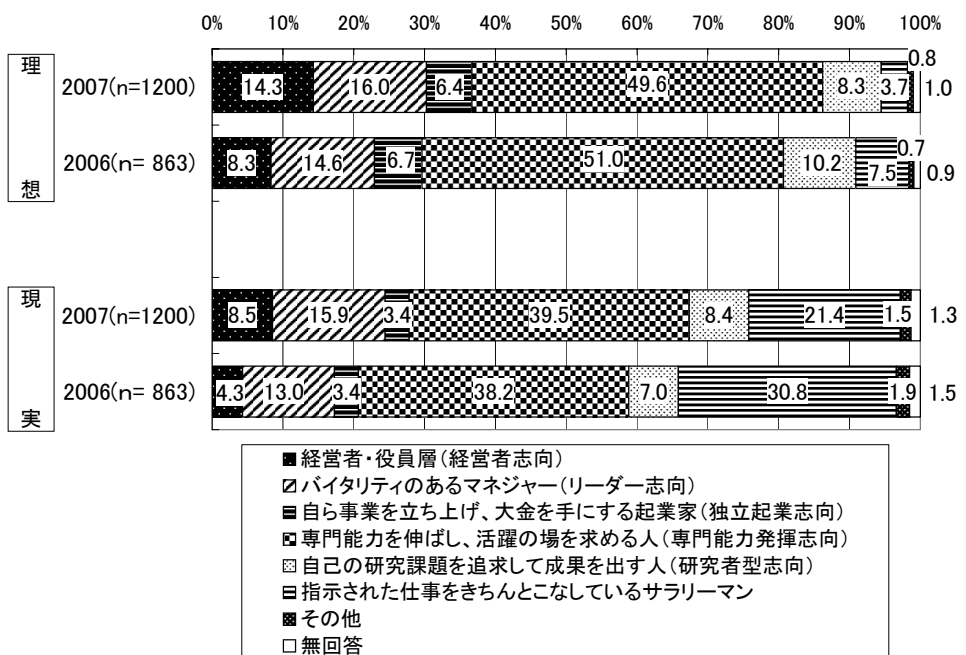
(6)将来の会社の中での役割【理想と現実】

「将来、どのような役割を担いながら仕事をしていきたいか」について理想と現実を尋ねたところ、理想では「専門能力発揮志向」が約半数を占め、また前回と比べ「経営者志向」が強まっている。

現実となると、「指示された仕事をこなすサラリーマン」の割合が前回よりも減り、「経営者志向」が増えている。

Q14. あなたは将来、理想として、どのような役割を担いながら仕事をしていきたいと思いますか。(理想)

Q15. あなたは将来、現実には、どのような役割を担いながら仕事をしていると思いますか。(現実)

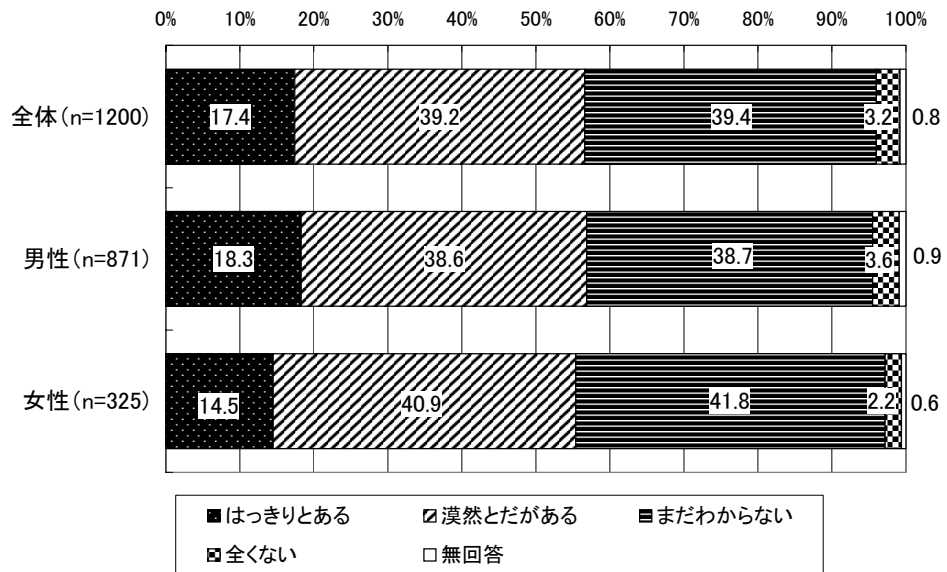


(7)将来実現したい目標・夢

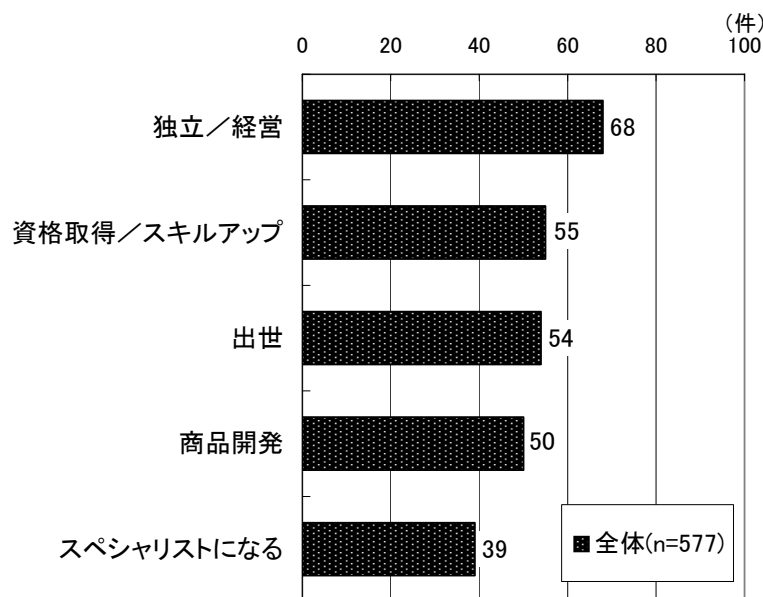
①将来実現したい目標・夢

将来実現したい目標・夢については、「はっきりとある」「漠然とだけがある」を合わせて56.6%となっている。具体的な目標・夢としては、「独立／経営」「資格取得／スキルアップ」「出世」等が上位となっている。

Q16. あなたは将来実現したい目標・夢を持っていますか



Q16-1. あなたが将来実現したい目標・夢とはどのような内容ですか (FA)



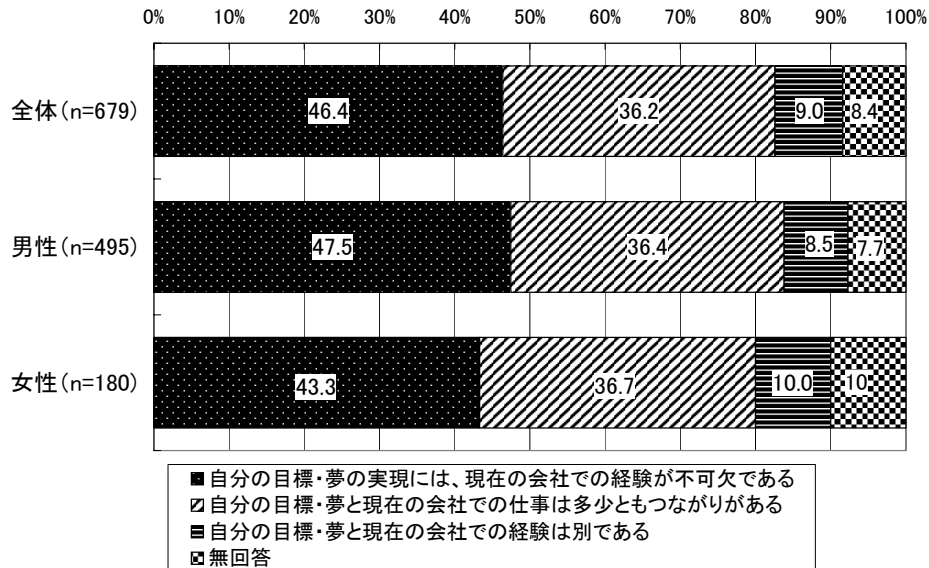
※ 数字はのべ人数

※ 上位5項目をグラフ化した

②将来実現したい目標・夢と仕事の関係

将来実現したい目標・夢を持っている人は、男女とも、大半が現在の会社での経験との延長線上で、目標・夢の実現を捉えている。

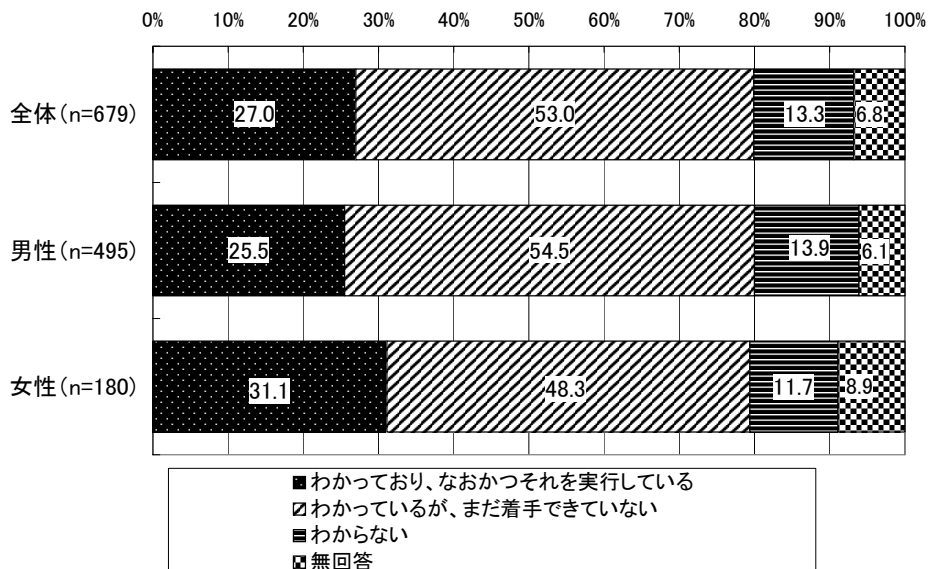
Q16-2. あなたの目標・夢と現在の会社での仕事は、どのくらい関係していると思いますか



③目標・夢の実現のためにすべきこと

将来実現したい目標・夢のために何をすべきか分かっていて、まだ着手できていない人が最も多く、53.0%である。すでに実行している人は27%である。男性に比べ、女性の方がやや実行している割合が高い。

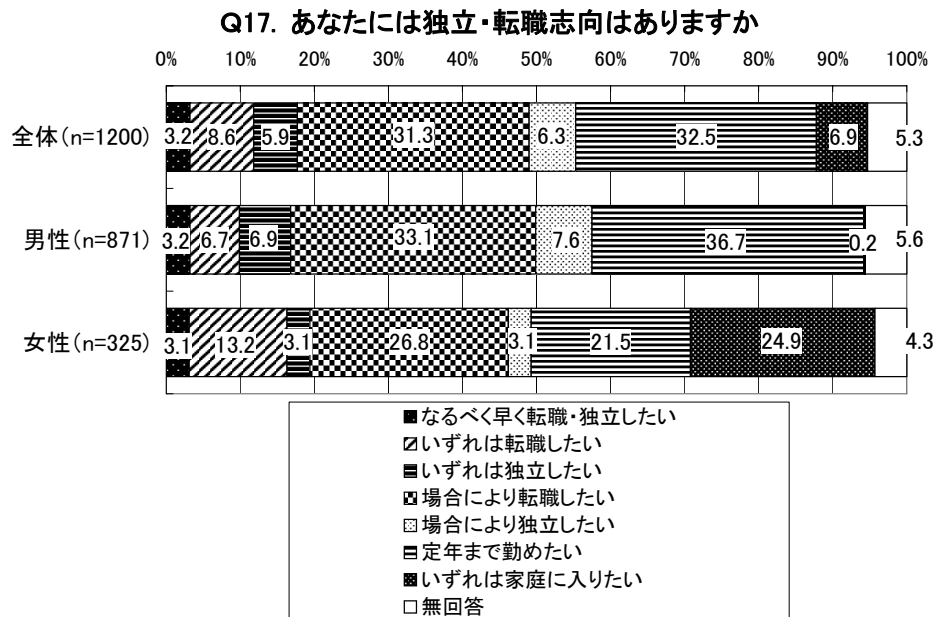
Q16-3. あなたは自分の目標・夢を実現するために、何をしたらよいかわかっていますか



(8)独立・転職志向

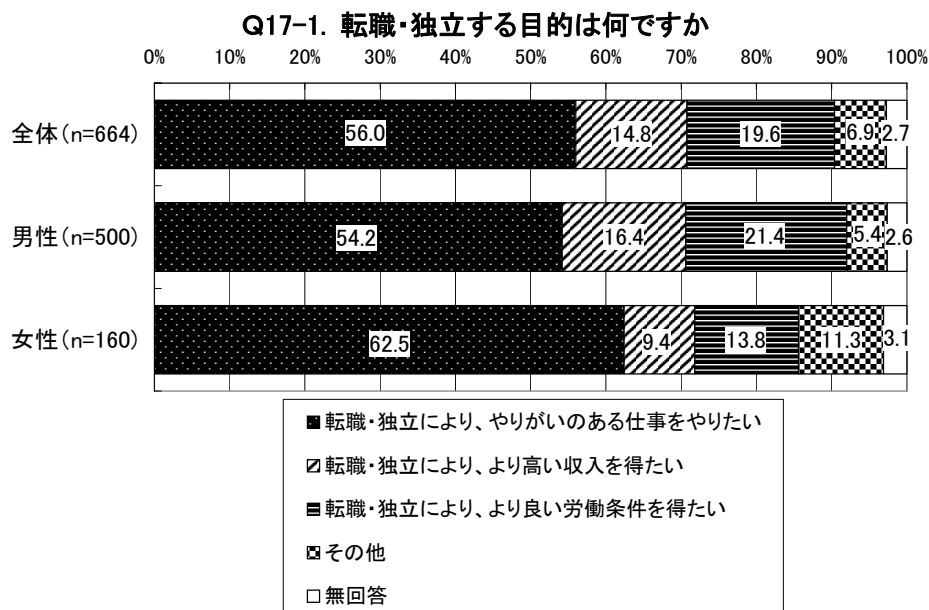
①独立・転職志向

「独立・転職志向の有無」をみると、「定年まで勤めたい」と「場合により転職したい」がそれぞれ約3割となっている。女性の「いずれは家庭に入りたい」割合は24.5%である。



②独立・転職の目的

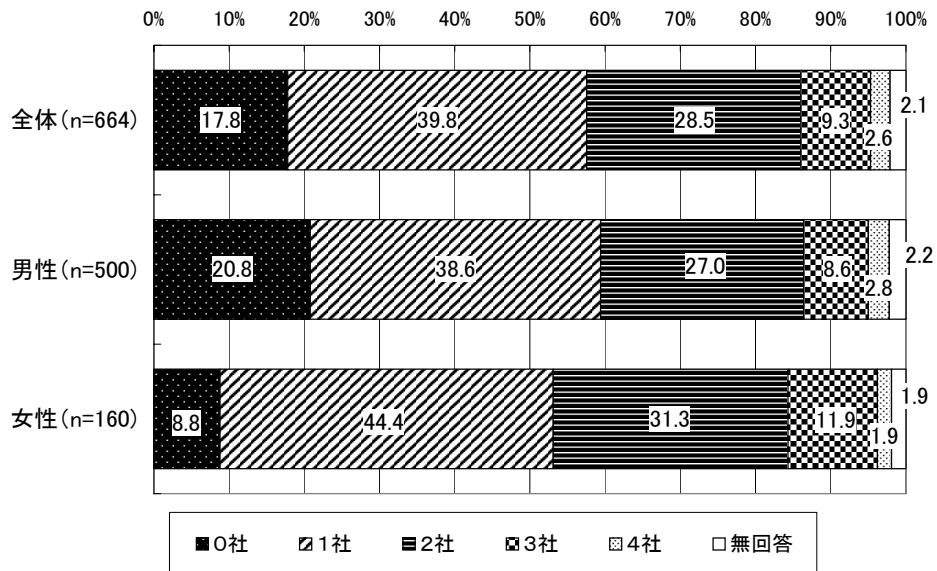
「独立・転職する目的」をみると、男女とも、「やりがいのある仕事をやりたい」が最も高くなっている。



(9)働く会社数

将来的に経験すると思う会社の数は、現在の会社のほかに1社が最も多くなっている。

**Q18. 現在の会社を含め、将来的に何社くらいを
経験する(働く)と思いますか**

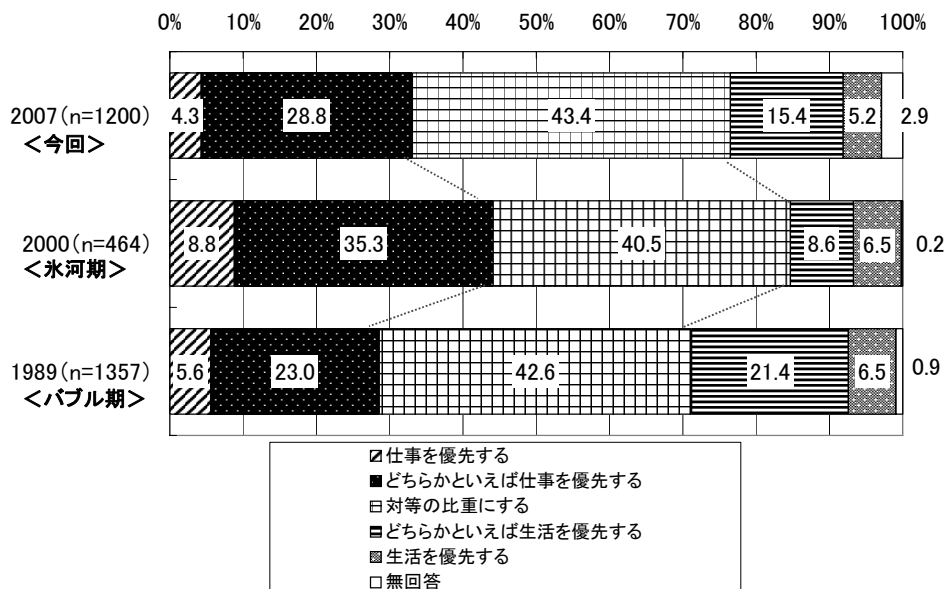
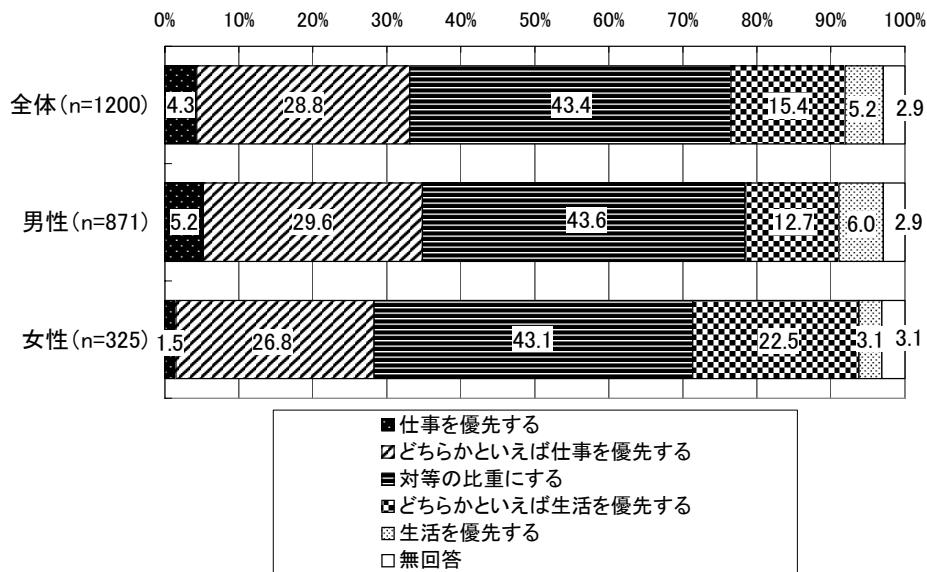


(10)仕事と生活のバランス

仕事と生活のバランスについては、「対等の比重」が最も多く、43.4%である。一方、男性の方が女性よりも「仕事優先」の傾向がやや強くなっている。

「就職氷河期」や「バブル期」との比較で見ると、「就職氷河期」は仕事優先の傾向が強くなっている。

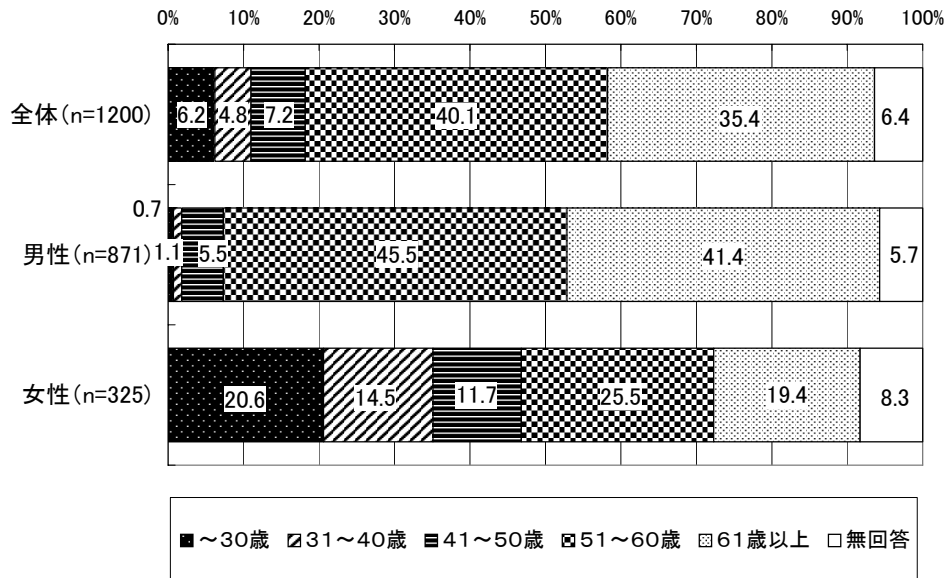
Q19. あなたは仕事と生活のバランスをどうとりたいですか



(11)何歳まで働きたいか

全体では、51歳以上が約3/4を占めている。また、女性では、51歳以上の割合が44.9%であり、男性の86.9%と大きな開きがある。

Q20. あなたは、何歳まで働きたいですか

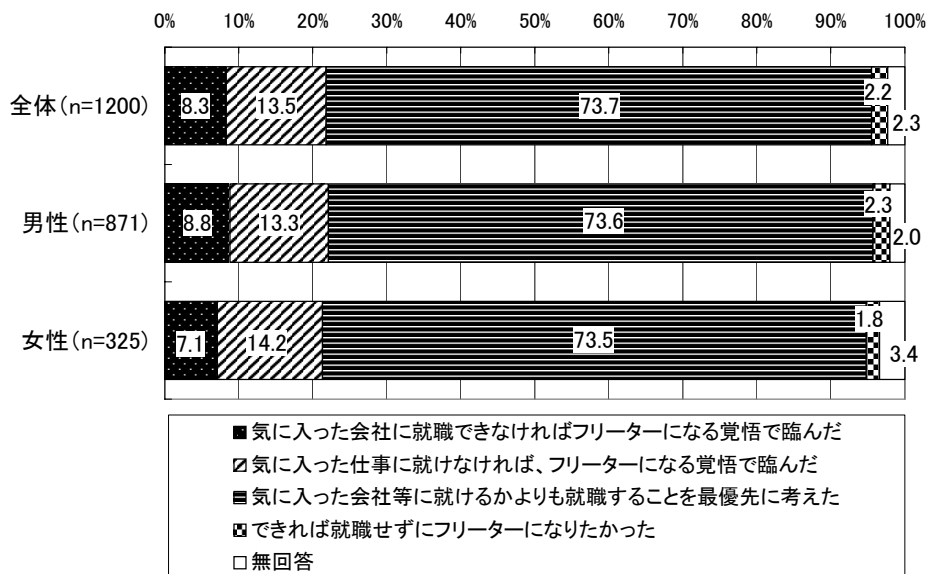
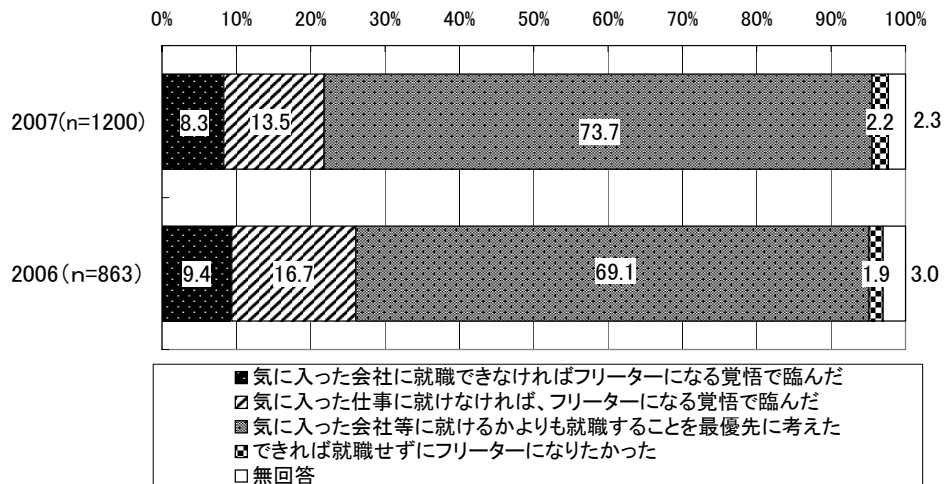


(12) 就職に対する意識

① 就職に臨んだときの気持ち

就職に臨んだときの気持ちは、前回同様、「就職することを最優先」が最も高く7割以上を占めている。男女とも、同様の傾向である。

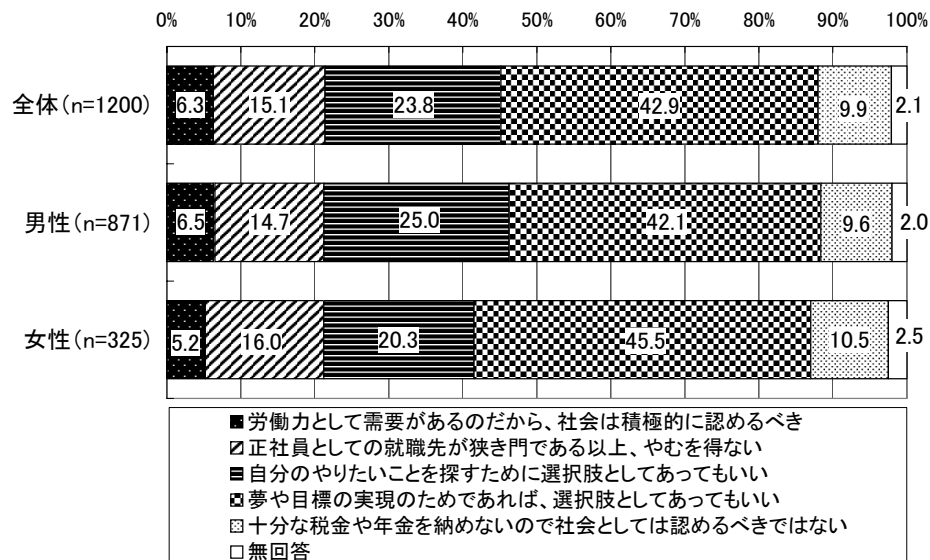
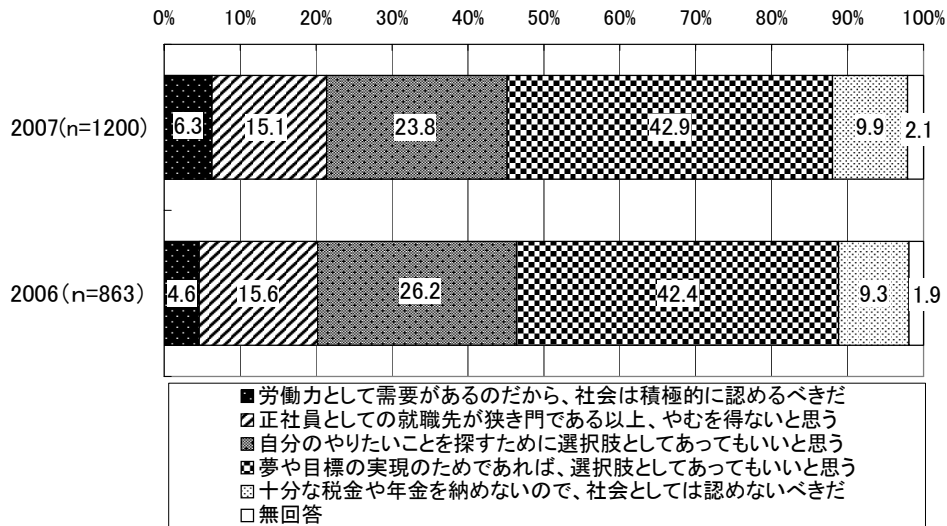
Q21. あなたはどのような気持ちで就職活動に臨みましたか



②フリーターの容認

前回と似たような傾向を示し、全体では「夢や目標の実現のためならフリーターという選択肢があってもいい」が42.9%を占め、最も高い割合である。

Q22. あなたはフリーターについてどう思いますか

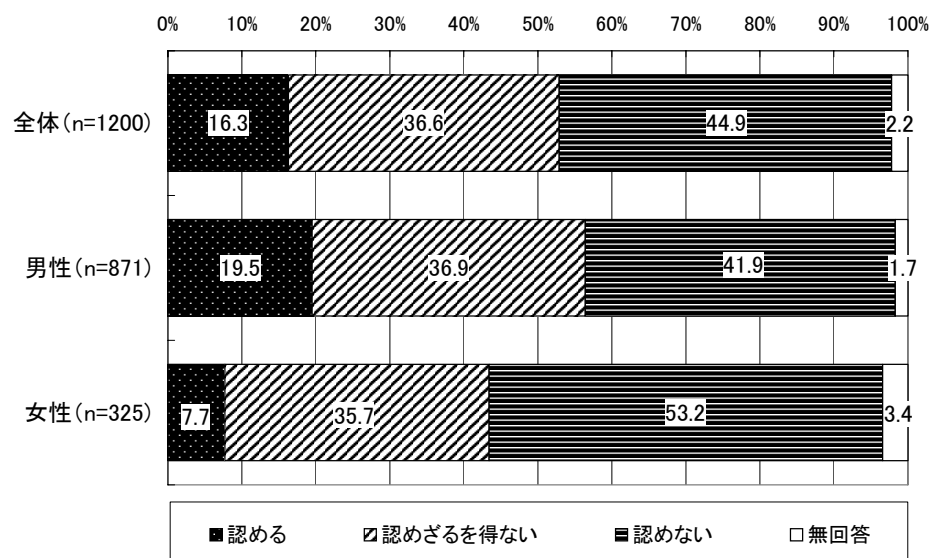
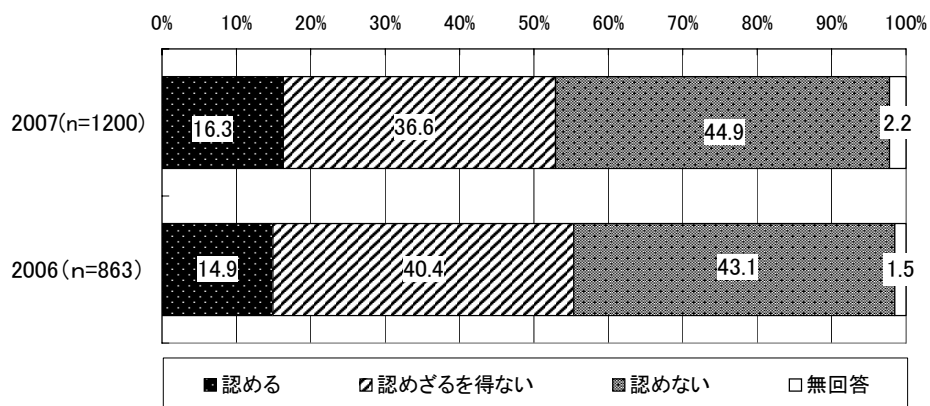


③ニートに対する意識

ニート(Not in Employment, Education or Training=「就業、就学、職業訓練のいずれもしていない人」)に対する意識についてみると、前回より、「認めない」の割合が若干増えているものの、“容認派”が過半数を占めている。

性別でみると、男性の方が「認める」比率が高くなっている。

Q23. あなたはニートという存在に対して、どう思いますか

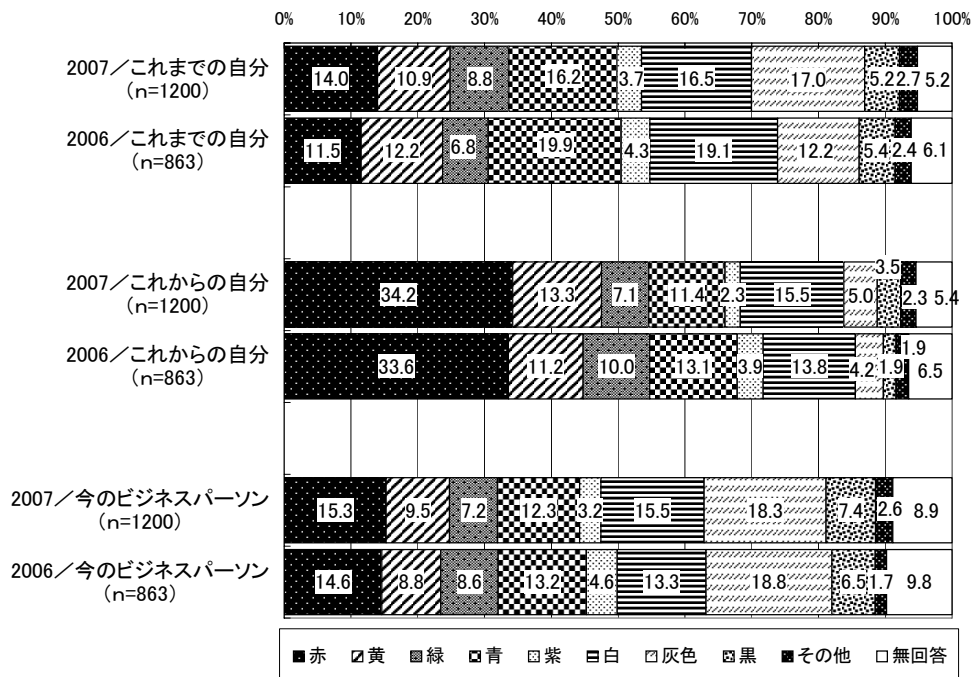


5. 3 その他

(1) これまでの自分・これからの自分・今のビジネスパーソンを例えた色とその理由

① 例えた色

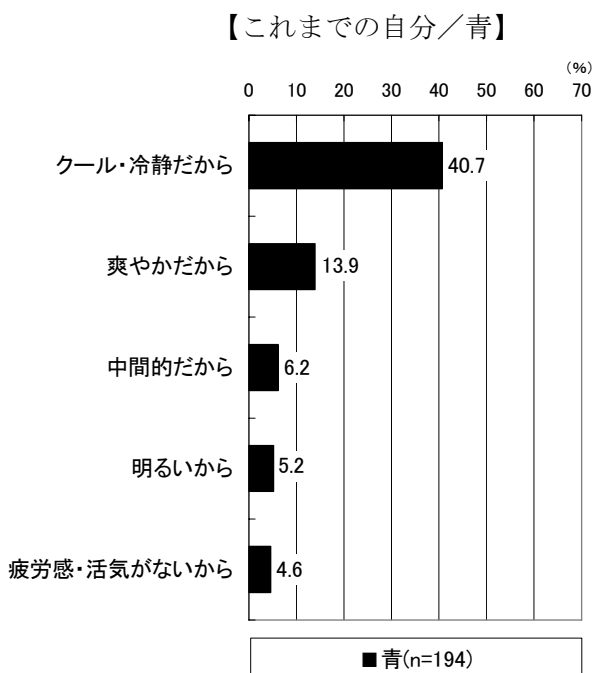
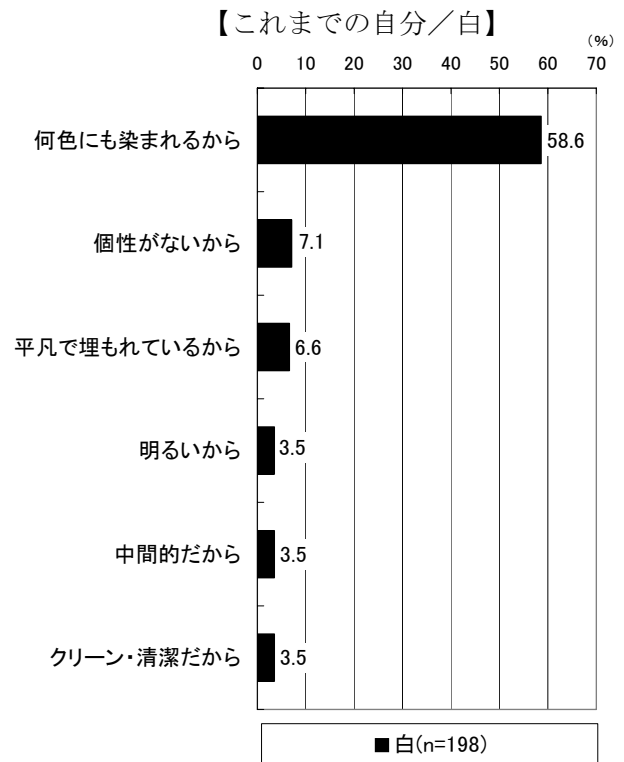
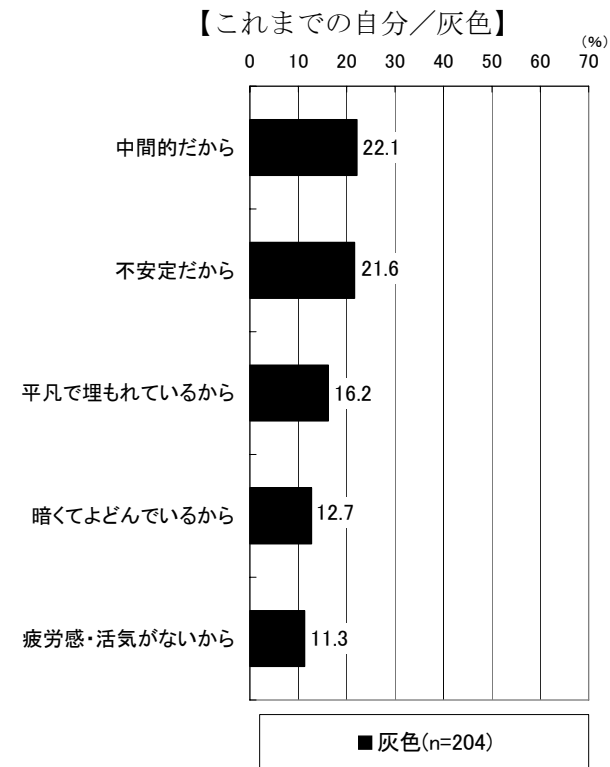
これまでの自分は、前回と比べ、「灰色」が約5ポイント増えている。これからの自分は、前回同様、「赤」が最も多い。



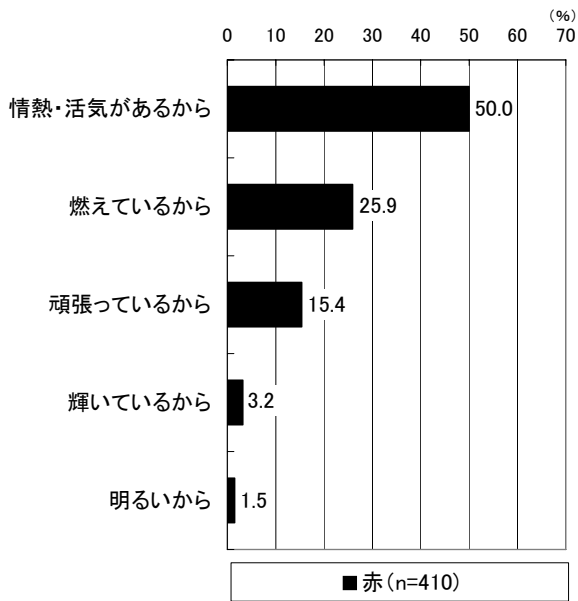
②色の理由

これまでの自分が「灰色」との回答の理由として、「中間的」「不安定」の回答が上位にきている。

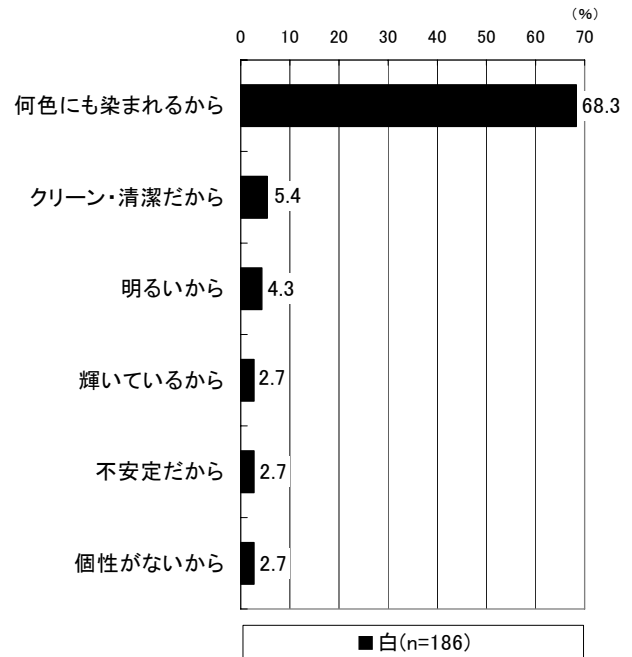
それぞれの色の理由（上位5項目を表示）



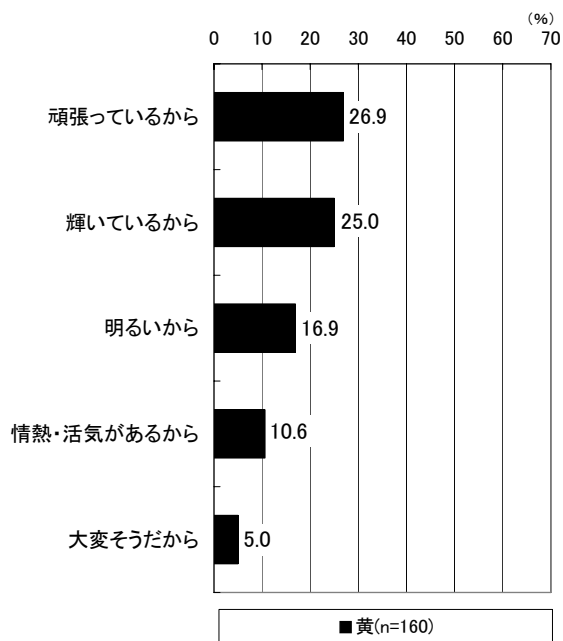
【これからの自分／赤】



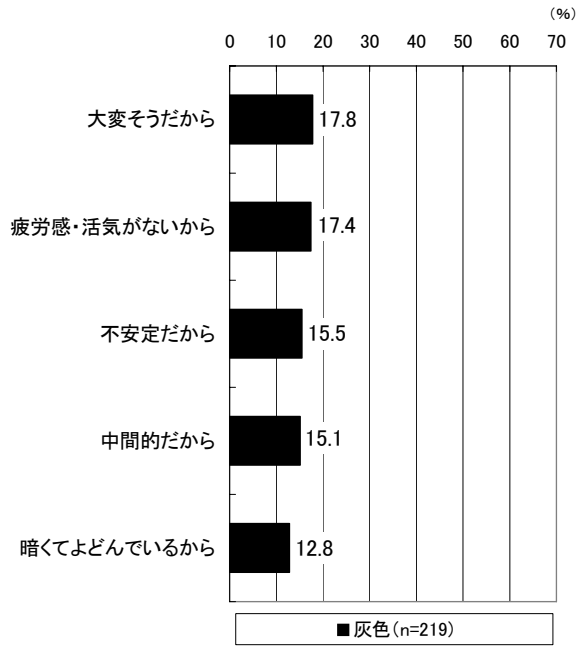
【これからの自分／白】



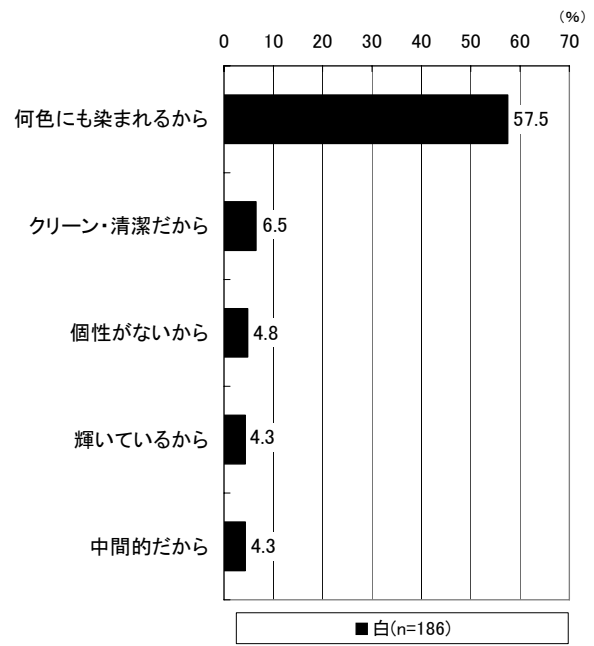
【これからの自分／黄】



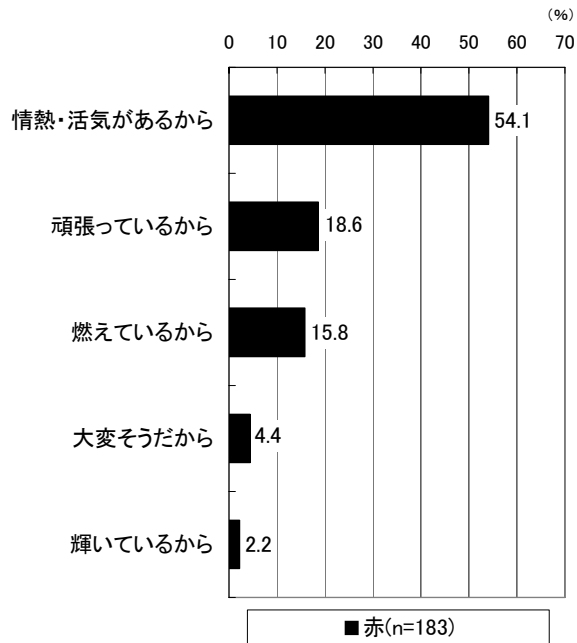
【ビジネスパーソン／灰色】



【ビジネスパーソン／白】

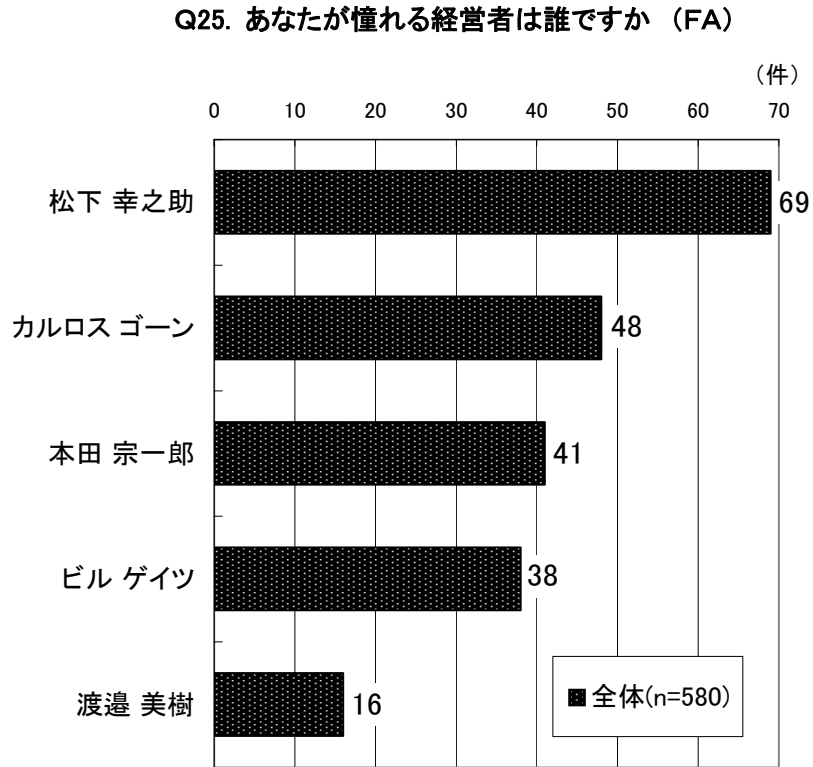


【ビジネスパーソン／赤】



(2) 憧れる経営者

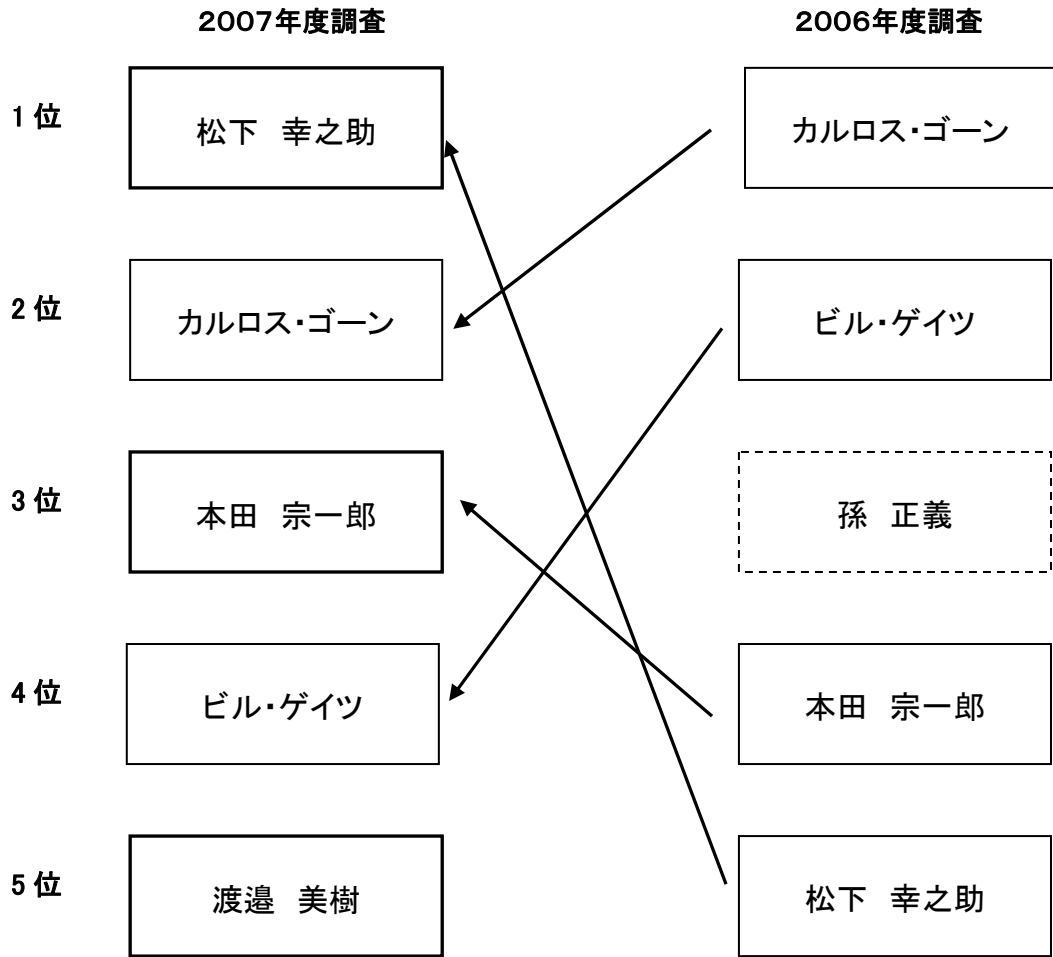
憧れる経営者について自由記述で尋ねたところ、「松下幸之助」（前回5位）が最も多く、「カルロスゴーン」（前回1位）、「本田宗一郎」（前回4位）と続いている。



※ 数字はのべ人数

※ 上位5項目をグラフ化した

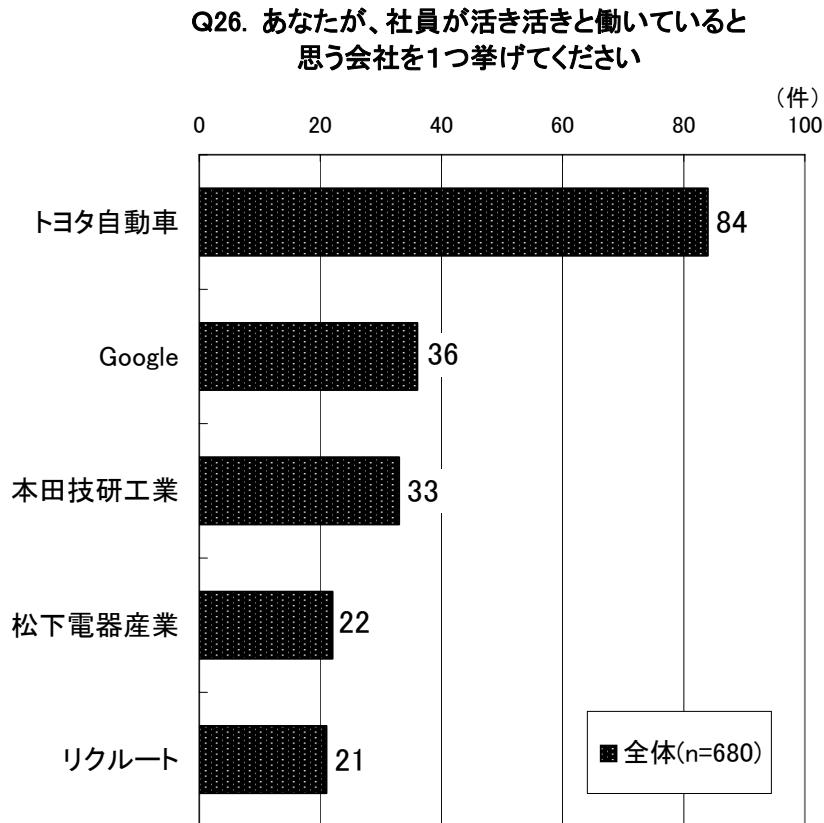
【時系列比較】



※ 上位5位までを表示した

(3)社員が生き生きと働いていると思う会社

社員が生き生きと働いていると思う会社は、「トヨタ自動車」「Google」「本田技研工業」の順となっている。「トヨタ自動車」は前回と同様トップである。



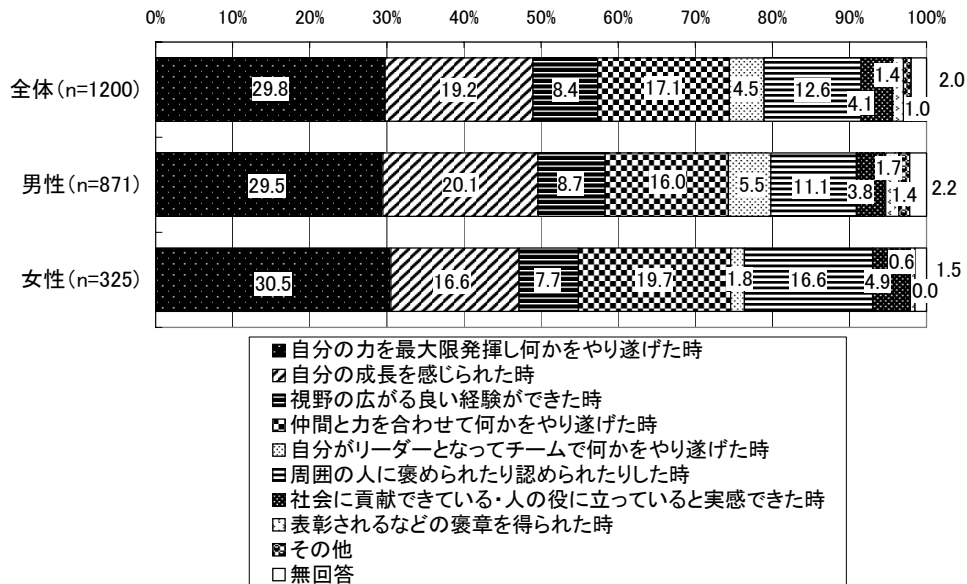
※ 数字はのべ人数

※ 上位5項目をグラフ化した

(4)今までに達成感や充実感を感じたとき

今までに達成感や充実感を感じたときは、「自分の力を最大限発揮し何かをやり遂げた時」が最上位となっている。

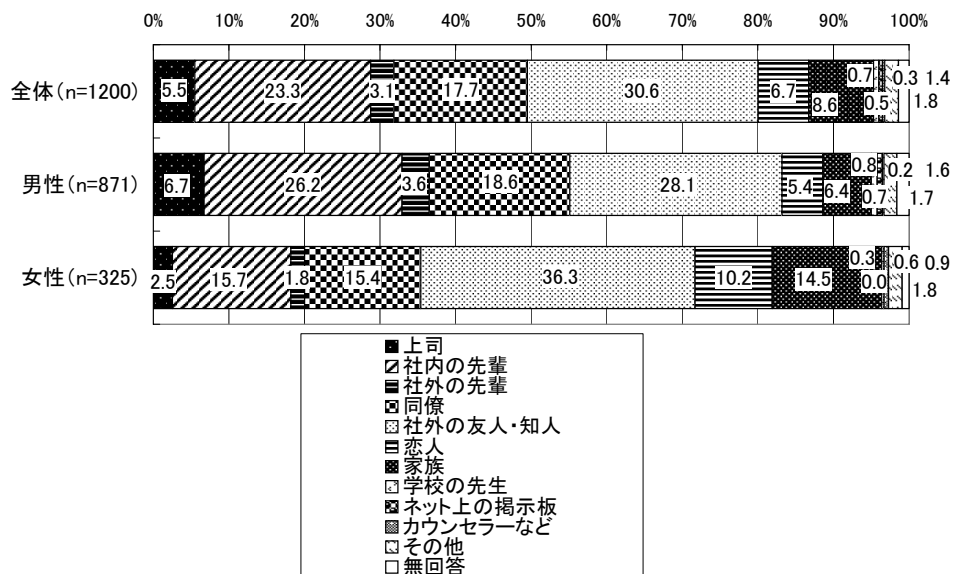
Q27. 今までに、達成感や充実感を感じたのはどのような時ですか



(5)仕事や職場の悩みを相談したい相手

仕事や職場の悩みを相談したい相手は、「社外の友人・知人」が最も多くなっている。「上司」「社内の先輩」を合わせると約 30%である。

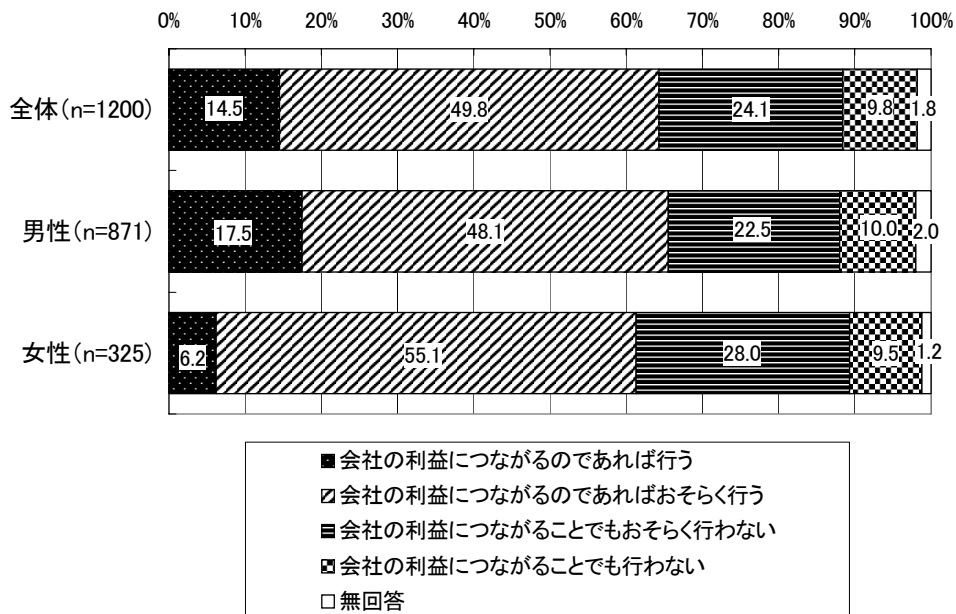
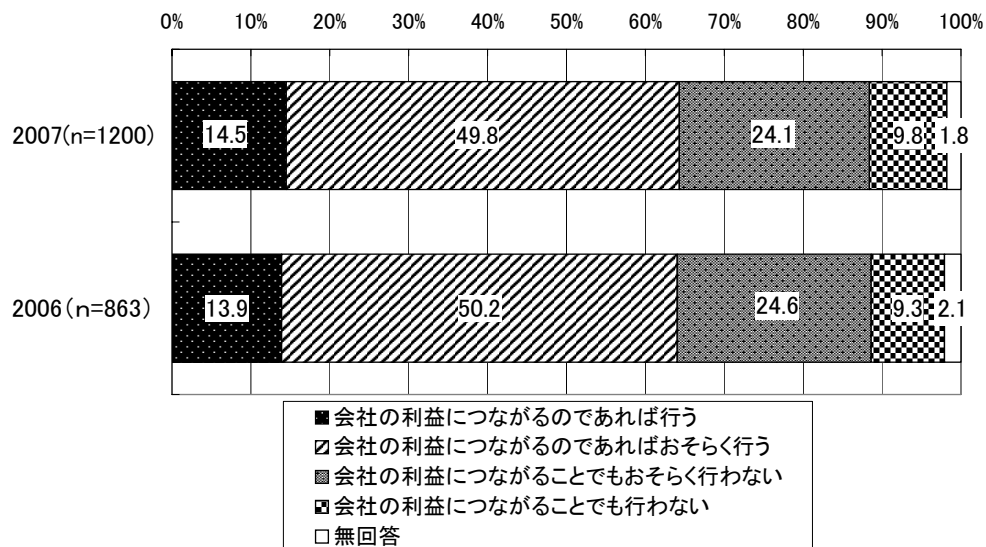
Q28. 仕事や職場の悩みを誰に相談したいですか



(6) 良心に反する仕事を指示された場合

良心に反する仕事を指示された場合は、前回同様、「会社の利益につながるのであればおそく行なう」が約半数を占めている。その割合は、男性の方が高くなっている。

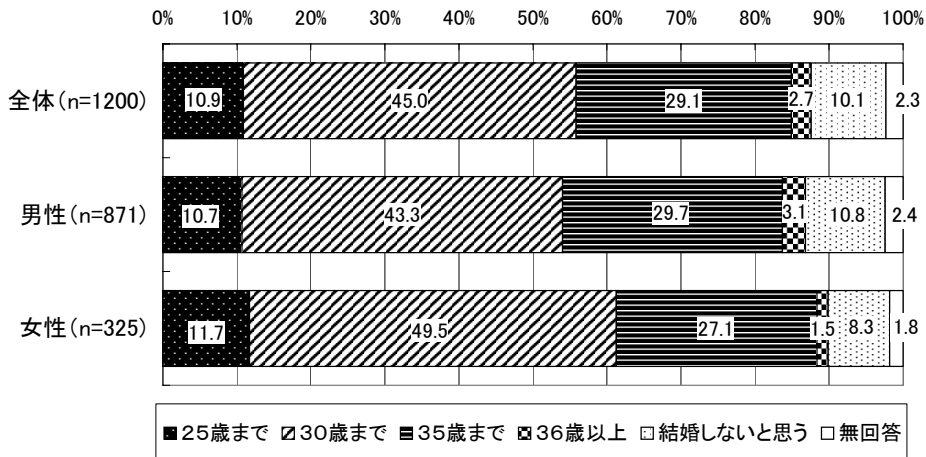
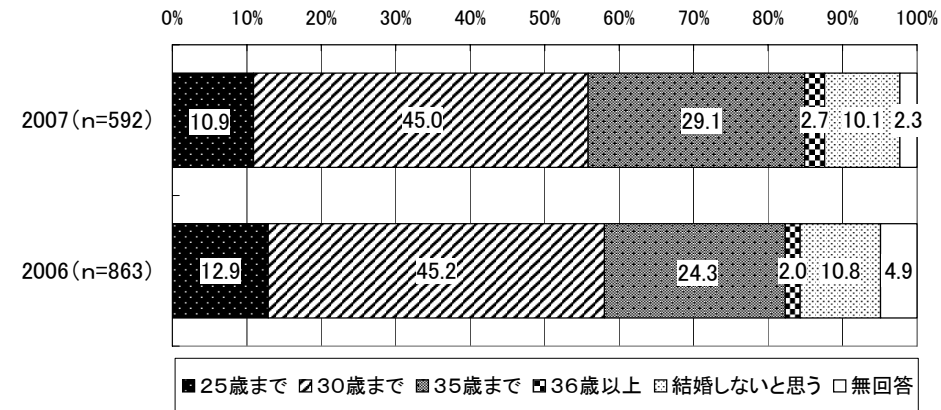
Q29. あなたは、自分の良心に反する仕事を上司から指示された場合、どうしますか



(7)何歳までに結婚していると思うか

結婚する年齢については、前回より「35歳まで」が若干増えている。

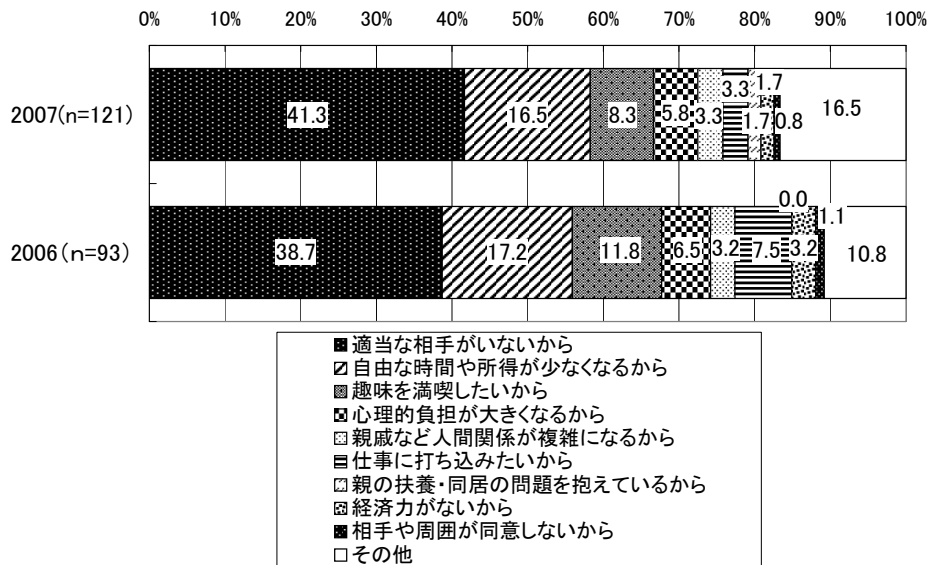
Q30. あなたは25歳、30歳、35歳のどの時点
までには結婚していると思いますか



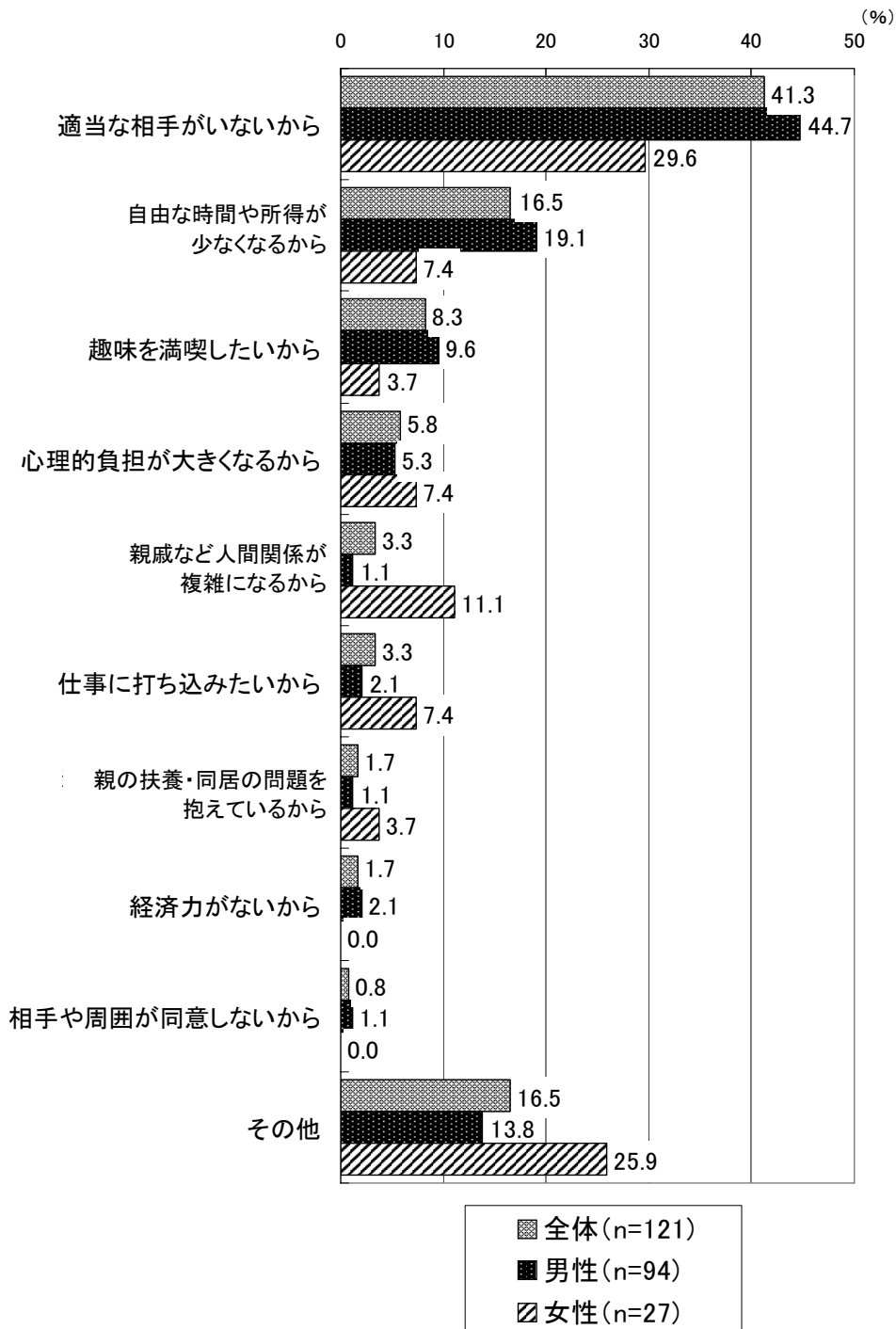
(8)「結婚しないと思う」理由

「結婚しないと思う」理由は、「適当な相手がいない」が最も多く、前回よりも増えている。その割合は、男性で高くなっている。

Q31.「結婚しないと思う」と答えた方、それはなぜですか



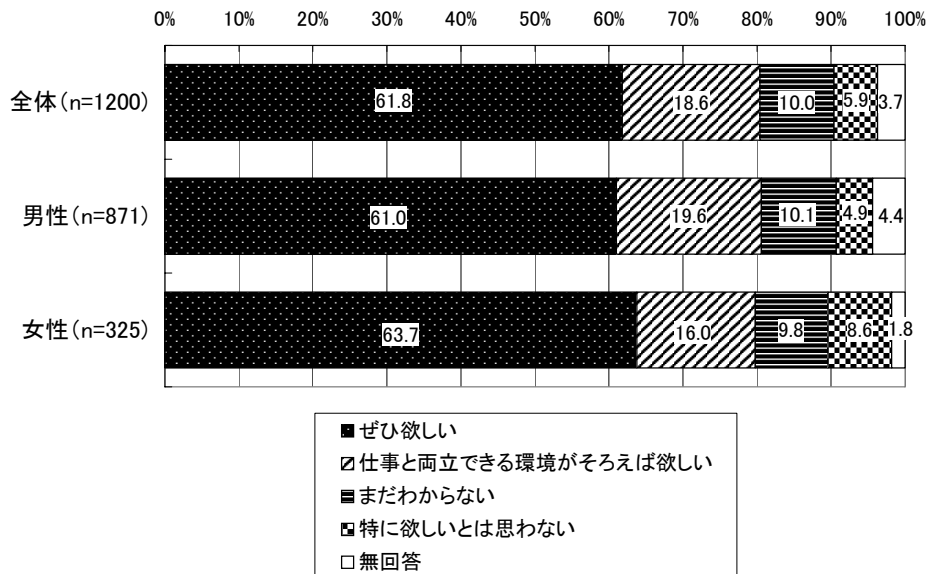
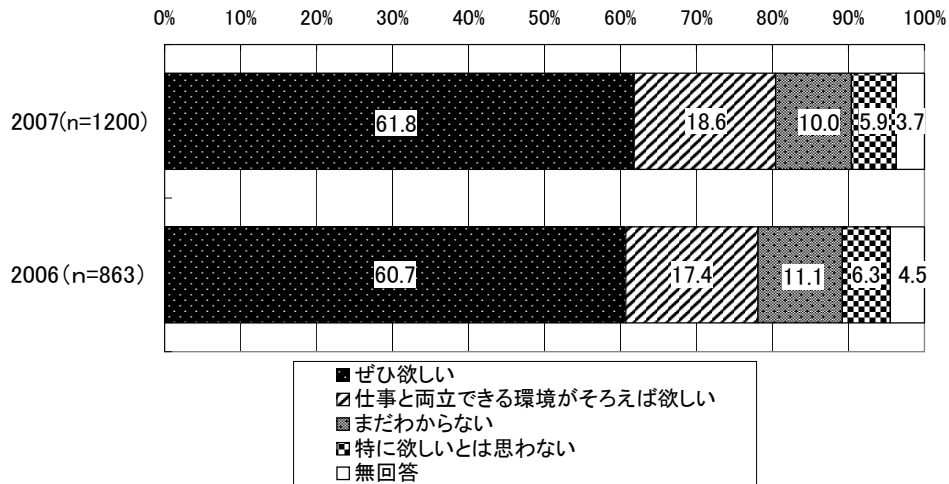
Q31.「結婚しないと思う」と答えた方、それはなぜですか



(9)将来、子どもが欲しいと思うか

将来子どもが欲しいかについては、前回同様、「ぜひ欲しい」の割合が61.8%となっている。

Q32. あなたは、将来、子どもが欲しいと思いますか

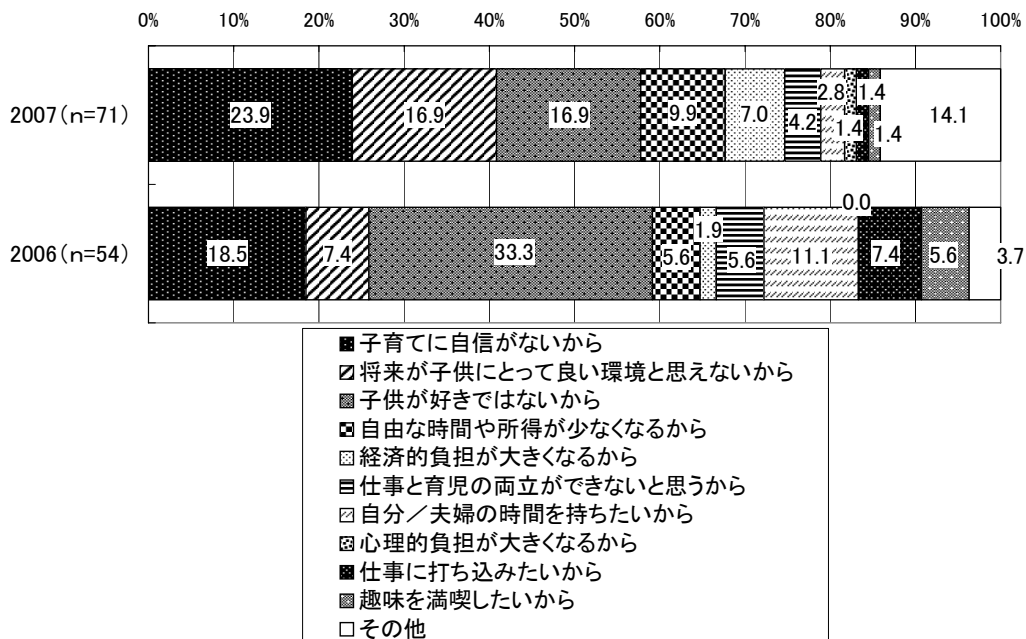


(10)子どもを「特に欲しいと思わない」理由

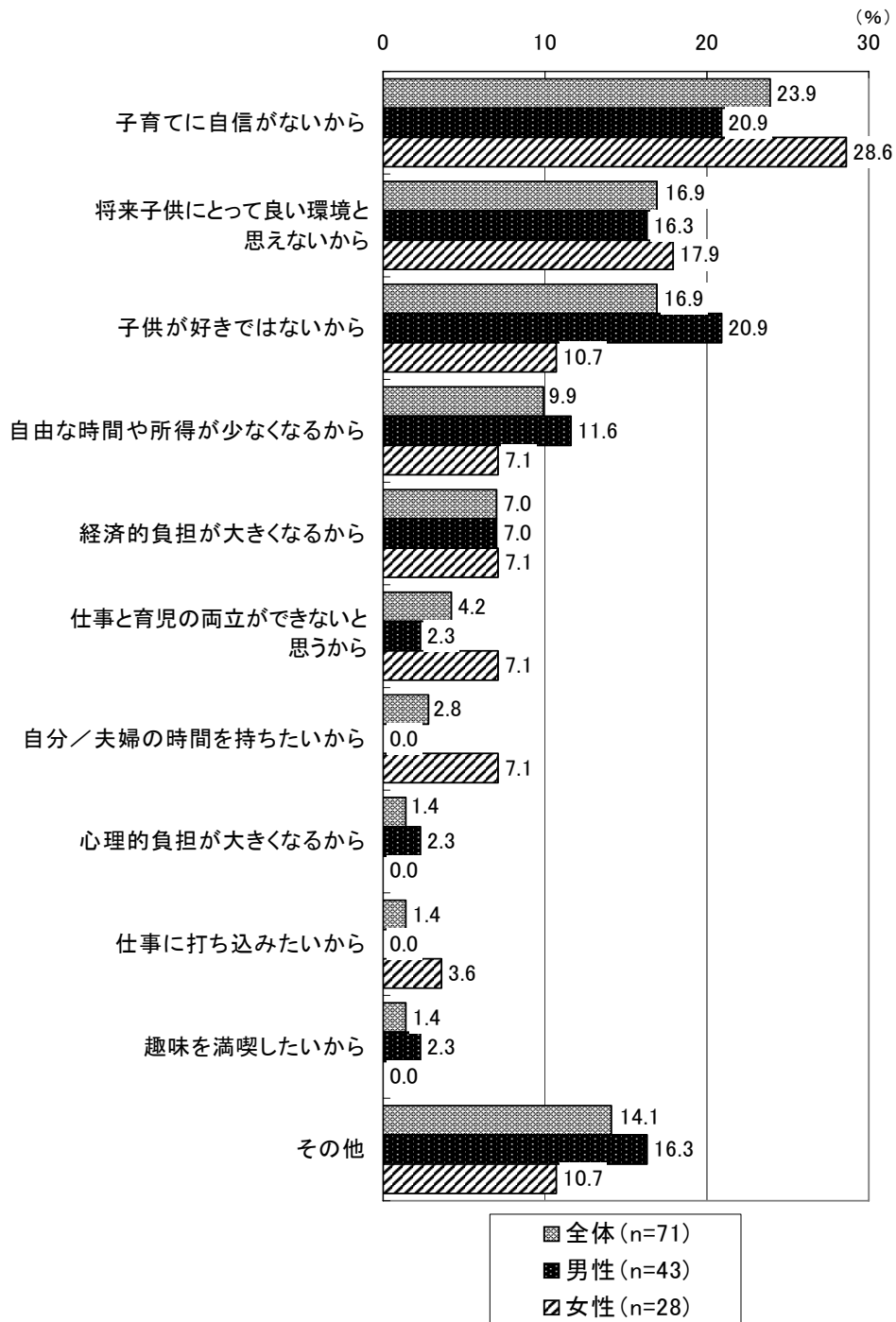
子どもを「特に欲しいと思わない」理由で最も高いのは、「子育てに自信がないから」であり、前回よりも5ポイントほど増えている。特に、女性で「子育てに自信がない」割合が高くなっている。

逆に、「子供が好きではないから」の割合は、大きく減っている。

Q33.「特に欲しいと思わない」と答えた方、それはなぜですか



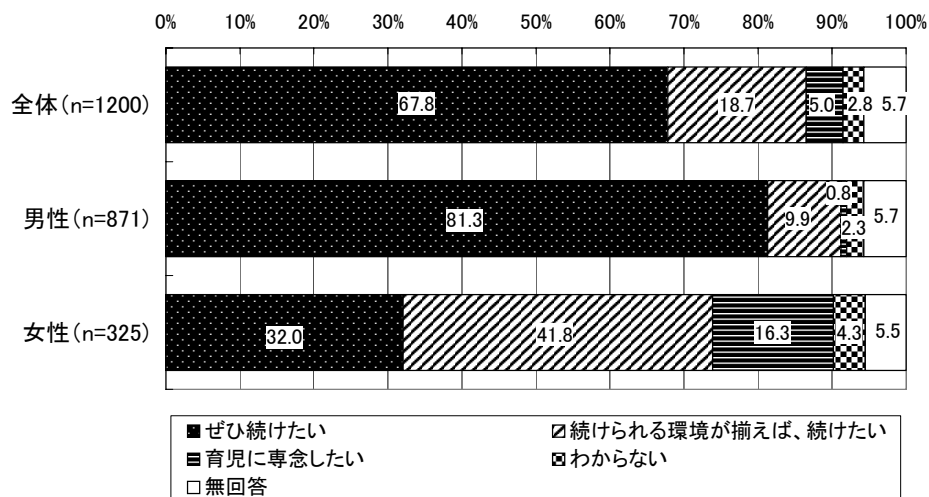
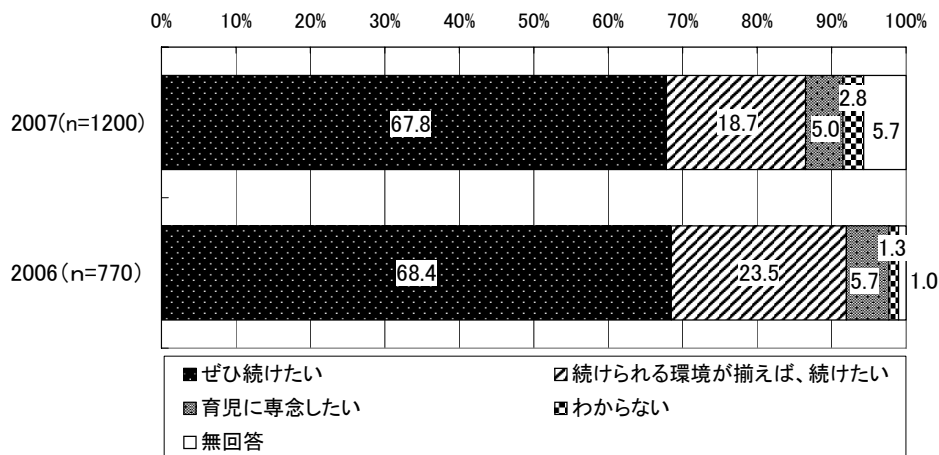
Q33.「特に欲しいと思わない」と答えた方、それはなぜですか



(11)子どもが生まれた場合、仕事を続けたいか

子供が生まれた場合に仕事を続けたい割合は、前回同様、「ぜひ続けたい」が7割近くを占めている。ただし、女性は「ぜひ続けたい」割合は3割程度に留まり、「続けられる環境が揃えば、続けたい」の割合の方が高くなっている。

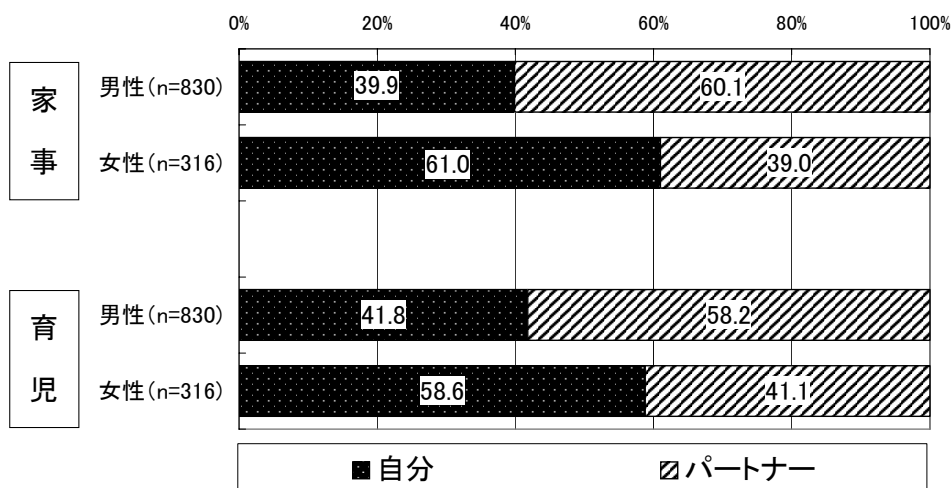
Q34. あなたは、将来子どもが生まれた場合、仕事を続けたいと思いますか



(12)パートナーとの家事・育児の理想の分担比率

パートナーとの家事／育児分担比率についてみると、家事・育児ともに、男性では自分：パートナー＝4：6、女性では自分：パートナー＝6：4という結果で、男女の志向が一致している。

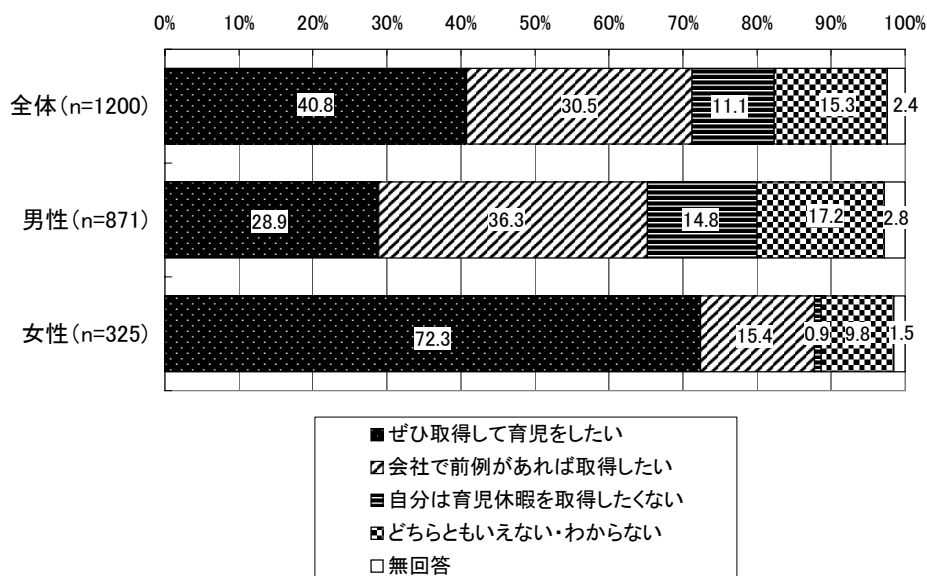
Q35. パートナーとの家事・育児の分担比率はどの程度が理想ですか



(13)自身の育児休暇取得をどう思うか

育児休暇に関して、男性で「ぜひ取得して育児をしたい」と「会社で前例があれば取得したい」を合わせると 65.2%となっている。

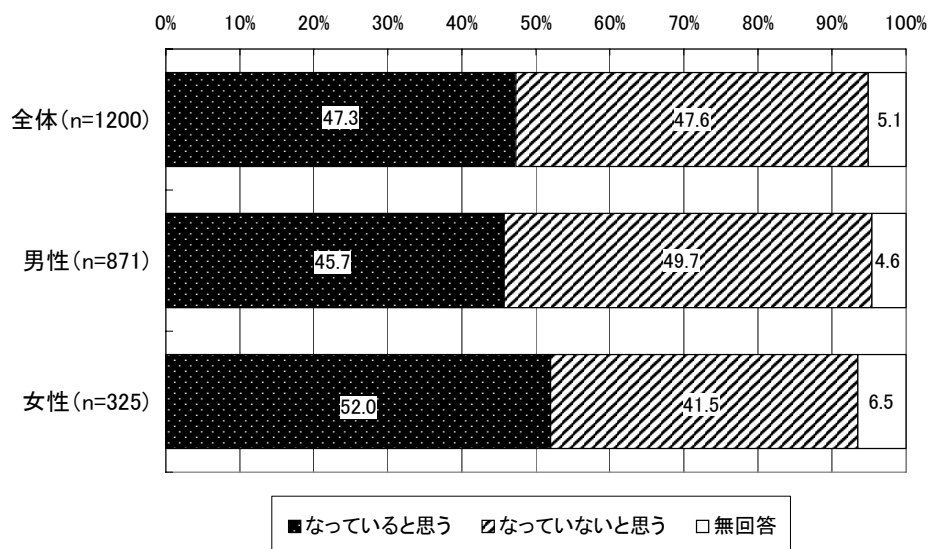
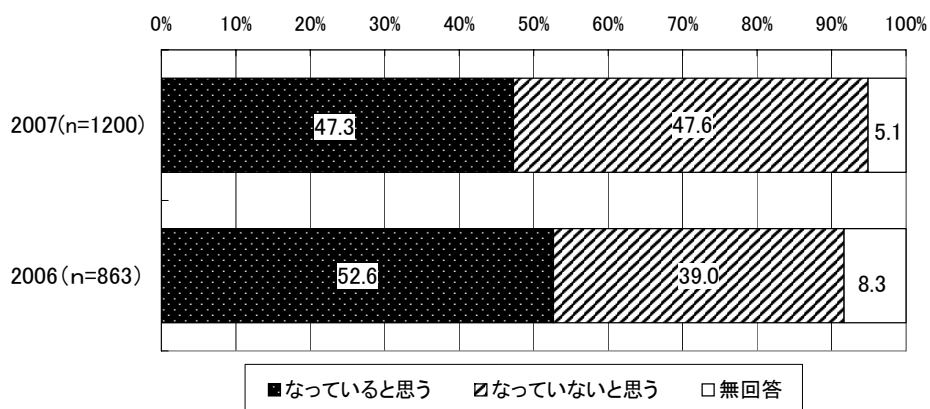
Q36. 共働きで育児をする場合、あなた自身が育児休暇を取得することをどう思いますか



(14) 10年後の日本社会の状況

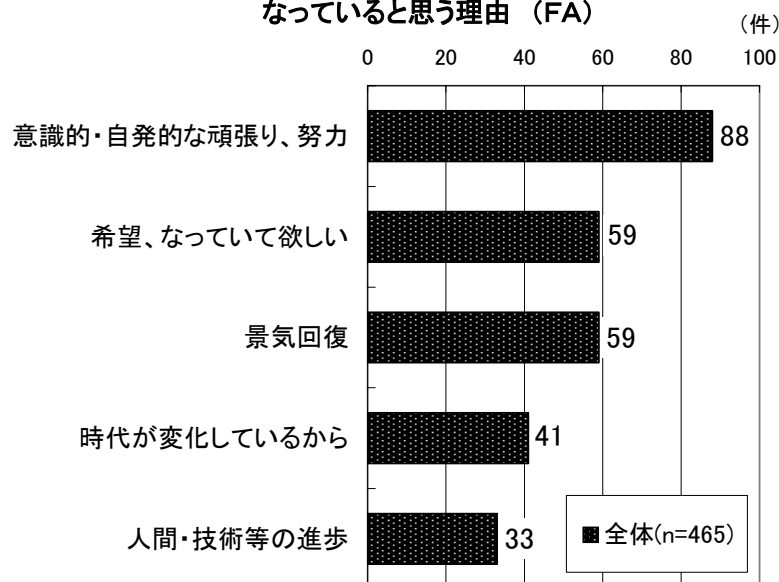
10年後の日本社会がより良い社会になっているかどうかについてみると、全体では、「なっていると思う」が47.3%、「なっていないと思う」が47.6%で半々となっている。前回と比べると、「なっていないと思う」の割合が増えている。

Q37. 10年後の日本社会は、より良い社会になっていると思いますか



「よりよい社会になっていると思う理由」(FA)としては、「意識的・自発的は頑張り、努力」が多くなっている。一方、「よりよい社会になっていないと思う理由」では、「少子高齢化／年金問題」がトップである。

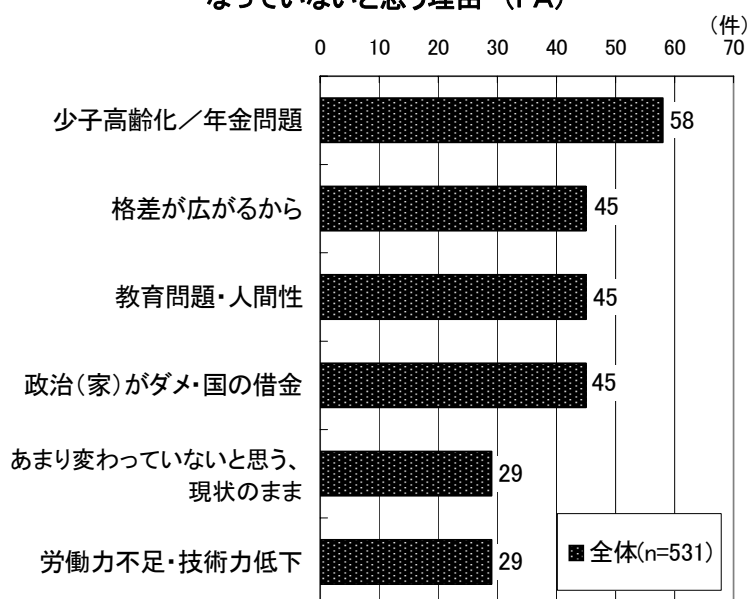
Q37-1. 10年後の日本社会は、より良い社会になっていると思う理由 (FA)



※ 数字はのべ人数

※ 上位5項目をグラフ化した

Q37-2. 10年後の日本社会は、より良い社会になっていないと思う理由 (FA)



※ 数字はのべ人数

※ 上位5項目をグラフ化した

【参考資料】 アンケート票

- ・ 新入社員用
- ・ 上司・先輩（派遣責任者）用

2007年度「会社や社会に対する意識調査」アンケート

社団法人日本能率協会

このアンケートは、2007年3月～4月にかけて実施の新入社員教育プログラムに参加された各企業の
新入社員の方を対象として調査にご協力いただくものです。

会社への期待や不安、社会への意識などに関して、あなたご自身の意見をおうかがいします。ご自分
のお気持ちのまま率直にお答え下さいませようお願いします。

なお、このアンケートは無記名で実施し、個人の回答は一切特定できないようになっています。

* 記入方法

- 1) 回答は質問にしたがい、はっきりと記入して下さい。
- 2) 記入もれがないように、必ずご確認下さい。

●ご回答後のアンケートは、講師へ提出して下さい。

◎最初にあなたご自身のことについてお聞きします。(それぞれに○、年齢は実数を記入)

- F1. 性別 1. 男性 2. 女性 F5. あなたの会社の業種
- F2. 年齢 歳
- F3. 最終学歴 1. 中学・高校卒 2. 専門学校卒 3. 短期大学卒 4. 大学卒 5. 大学院卒 6. その他
3. 繊維・パルプ・紙・化学・薬品
4. 石油・ゴム・ガラス・鉱業
5. 鉄鋼・金属・非金属
6. 電気機器
7. 精密機器・輸送機器
8. その他製造業
9. 金融・証券・保険・不動産
10. 倉庫・運輸
11. 通信
12. 電気・ガス・水道
13. その他サービス業
14. 情報処理
15. 官公庁・団体・学校・病院
16. その他

- F4. 入社形態 1. 新卒 2. 中途入社
- F6. あなたの会社の従業員数

1. 1000人以上
2. 500人～1000人未満
3. 300人～500人未満
4. 100人～300人未満
5. 100人未満
6. わからない

I 入社に関する意識について

問1. ①あなたが就職活動を行うにあたって会社を選ぶ基準としていたことと、②今の会社への入社を選
択した理由は何ですか。(①②についてひとつを選択)

1. 自分のやりたい仕事ができる業種であること (※業種:自動車、家電、金融、IT系等)
2. 自分のやりたい仕事ができる職種であること (※職種:営業、企画、研究・開発等)
3. 自分の能力を伸ばすことができる会社であること
4. 給料が高い会社であること
5. 社員の成果が公平に評価される会社であること
6. 将来急成長が期待できる会社であること
7. (社員の)雰囲気がいよい会社(風土)であること
8. 業績が安定している会社であること
9. 経営者層の考え方(経営理念・経営方針)に共感することのできる会社であること
10. 環境問題への取り組みなど、企業の社会的責任(CSR)を果たしている会社であること
11. 知名度が高い会社であること
12. 自宅から近い、都心にあるなど、立地条件がよい会社であること
13. 知人(親戚等)や先輩が勧めてくれる会社であること
14. とにかく自分を採用してくれる会社であること
15. その他()

<回答欄>

①会社を 選ぶ基準	②入社の 選択理由

問2. あなたが入社した会社は、あなたにとって第一希望の会社でしたか。(ひとつに○)

1. 第一希望だった
2. 第一希望ではなかった

問3. 現在の会社を含めた内定社数ほどのくらいですか。(実際の社数を数字で記入)

【記入例】現在の会社の場合 → 社 <回答欄> 社

問4. あなたが就職先を決定する時に、影響を受けたのは誰(何)ですか？影響を受けた順に上位3つを選び、回答欄に番号を記入してください。

1. 家族	7. 新聞や業界誌			
2. 友人・知人	8. 就職専門誌			
3. 学校の先輩(OB、OG)	9. 就職情報サイト			
4. 学校の先生	10. 就職先(企業)のホームページ			
5. 学校などの就職センター(就職課)	11. 誰にも影響を受けていない			
6. ネット上の掲示板	12. その他()			

1位 2位 3位

<回答欄>

問5. これから仕事をしていく上で、以下の項目はどの程度の不安がありますか。(それぞれに○)

	何も不安がない ←	ある程度不安 →	不安がいっぱいでかなり
1. 社会人として的一般マナー	1-2	3-4	5
2. 同じ職場の人たちとの人間関係	1-2	3-4	5
3. 上司との人間関係	1-2	3-4	5
4. 会社の将来性	1-2	3-4	5
5. 学歴・性別などによる仕事や昇進の差別	1-2	3-4	5
6. 自分の専門分野(学んだこと)が仕事に使えるかどうか	1-2	3-4	5
7. 会社の雰囲気になじめるかどうか	1-2	3-4	5
8. 仕事の基本的な進め方について	1-2	3-4	5
9. ノルマ(達成しなければならぬ仕事)の達成	1-2	3-4	5
10. 仕事に対する自分の能力	1-2	3-4	5
11. 残業時間の量	1-2	3-4	5
12. 自分と合わない職場への配置	1-2	3-4	5
13. パソコンなど情報機器の操作	1-2	3-4	5
14. 語学力	1-2	3-4	5

問6. 以下の項目のうち、入社3年以内に特に身につけたい能力・スキルはどれですか。あてはまるものを下記から3つまで選んでください。(○は3つまで)

1. ビジスマナー(言葉遣い・電話応対など)
2. 仕事の基本動作(報告・連絡・相談など)
3. 仕事上の基礎知識・基礎能力
4. 専門的知識・技術力
5. パソコンスキル
6. 状況対応力
7. 問題発見・問題提起力
8. 語学力
9. 決断力
10. 計画性
11. 実行力・行動力
12. コミュニケーション能力
13. その他()

問7. あなたがこれから仕事をするにあたって、今の『熱意・やる気』は5点満点で何点ですか。(ひとつに○)

1. 5点
2. 4点
3. 3点
4. 2点
5. 1点

Ⅱ 働く意識について

問8. あなたが働く目的は何ですか。(収入を得ること以外の目的をお聞かせください)
(上位2位まで選択)

1. 仕事を成功させ人に認められること
2. 職場において多くの人々と人間的なふれあいや対話を持つこと
3. 自分自身の人間性を成長させること
4. 仕事を通じて自分の能力や可能性を試してみること
5. 仕事を通じて社会に貢献すること
6. 自分の持っている力を、企業の発展に役立てること
7. 社会との関わりを持つこと
8. 仕事を通じてやりがい・充実感が得られること
9. 特別な理由はない

1位 2位
<回答欄>

問9. 次のような会社でどちらが魅力的ですか。(ひとつに○)

1. 実力のある人が評価され、早い昇進や高い給与が実現できる徹底した実力主義の会社
2. 競争をするよりもチームで平等に上がっていく年功主義の会社

問10. あなたは、仕事と人間関係のバランスをどのようにとりたいと思いますか。(ひとつに○)

1. 人間関係はドライに(ビジネスライクに)いきたい
2. 人間関係を重視し、できるだけ協調して仲良く仕事をしたい

問11. あなたは、自分の上司や先輩に相談や連絡をする際、どのような場合にメールを使いますか。それぞれについて、メールを使用するケースに○をおつけください。

想定されるケース	上司	先輩
(1) お世話になったお礼を伝えるとき		
(2) 仕事の日報の連絡		
(3) 会議の日程などの連絡		
(4) 仕事の進捗状況の報告		
(5) クレームやトラブルが起きた時の連絡・報告		
(6) 職場に関する悩みの相談		
(7) 自身のキャリアの相談		
(8) 休日の連絡		
(9) 辞職の連絡		

問12. あなたはこれから働くにあたって、できればやりたくない会社の風習や慣習はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 残業・休日出勤
2. お茶くみ当番や机拭き等の雑用
3. 接待
4. 朝礼・ラジオ体操
5. 社内イベント(社員旅行など)
6. 社外でのコミュニケーション(上司・先輩との就業後の飲み会、休日のゴルフなど)
7. スーツ・制服
8. 特にない
9. その他()

問13. あなたが理想的だと思うのはどのような上司や先輩ですか。

【上位3位まで選択して、回答欄に番号をご記入ください】

1. 仕事について丁寧な指導をする上司・先輩
2. 部下の意見・要望を傾聴する上司・先輩
3. 部下の意見・要望に対し、動いている上司・先輩
4. 仕事を任せて見守る上司・先輩
5. 仕事の結果に対するねぎらい・褒め言葉を忘れない上司・先輩
6. 言動が一致している上司・先輩
7. 仕事に対する情熱を持っている上司・先輩
8. リスクを恐れずチャレンジする上司・先輩
9. 仕事で成果を上げ、上司から信頼されている上司・先輩
10. 人間的魅力のある上司・先輩
11. プライベートな相談にも応じてくれる上司・先輩
12. 仕事だけでなく、プライベートも大事にする上司・先輩
13. その他()

1位 2位 3位
<回答欄>

問14. あなたは将来、**理想**として、どのような役割を担いながら仕事をしたいと思いますか。
(ひとつに○)

1. 経営者・役員層(経営者志向)
2. パイプラインのあるマネジャー(リーダー志向)
3. 自ら事業を立ち上げる起業家(独立起業志向)
4. 自分の専門能力を伸ばし、自分が活躍できる場を求めていく人(専門能力発揮志向)
5. 自己の研究課題を追求して成果を出す人(研究者型志向)
6. 指示された仕事をこなすサラリーマン
7. その他()

問15. あなたは将来、**現実**は、どのような役割を担いながら仕事をしたいですか。(ひとつに○)
(ひとつに○)

1. 経営者・役員層(経営者志向)
2. バイオリティのあるマネジャー(リーダー志向)
3. 自ら事業を立ち上げる起業家(独立起業志向)
4. 自分の専門能力を伸ばし、自分が活躍できる場を求めていく人(専門能力発揮志向)
5. 自己の研究課題を追求して成果を出す人(研究者型志向)
6. 指示された仕事をこなすサラリーマン
7. その他()

問16. あなたは将来実現したい目標・夢を持っていますか。(ひとつに○)

1. はっきりとある
 2. 漠然とだけがある
 3. まだわからない
 4. 全くない
- 問17へ

問16-1. (問16で「1. はっきりある」「2. 漠然とだけがある」と回答した方にお聞きします)

あなたが将来実現したい目標・夢とはどのような内容ですか。具体的に記入してください。

問16-2. (問16で「1. はっきりある」「2. 漠然とだけがある」と回答した方にお聞きします)

あなたの目標・夢と、現在の会社での仕事は、どのくらい関係していると思いますか。
(ひとつに○)

1. 自分の目標・夢を実現するためには、現在の会社での経験が不可欠である
2. 自分の目標・夢と現在の会社での仕事は、多少なりともつながりがあると思う
3. 自分の目標・夢と現在の会社での経験は別である

問16-3. (問16で「1. はっきりある」「2. 漠然とだけがある」と回答した方にお聞きします)

あなたは自分の目標・夢を実現するために、何をしたらよいかわかっていますか。
(ひとつに○)

1. わかっており、なおかつそれを実行している
2. わかっているが、まだ着手できていない
3. わからない

問17. あなたには独立・転職志向はありますか。(ひとつに○)

1. なるべく早く早く転職・独立したい
 2. いずれは転職したい
 3. いずれは独立したい
 4. 場合により転職したい
 5. 場合により独立したい
 6. 定年まで勤めたい
 7. いずれは家庭に入りりたい(専業主夫・専業主婦)
- 問19へ

問17-1. 転職・独立する目的は何ですか。(ひとつに○)

1. 転職・独立により、やりがいのある仕事をやりたい
2. 転職・独立により、より高い収入を得たい
3. 転職・独立により、より良い労働条件を得たい
4. その他()

問18. 現在の会社を含め、将来的に何社くらいを経験する(働く)と思いますか。(ひとつに○)

<回答欄>

現在の会社 + 社 (現在の会社の場合○と記入)

問19. あなたは仕事と生活のバランスをどうとりたいですか。(ひとつに○)

1. 仕事を優先する
2. どちらかといえば仕事を優先する
3. 対等の比重にする
4. どちらかといえば生活を優先する
5. 生活を優先する

問20. あなたは、何歳まで働きたいですか。

歳

Ⅲ その他

問21. あなたはどのような気持ちで就職活動に臨みましたか。(ひとつに○)

1. 気に入った会社に就職できなければ、フリーターになる覚悟で臨んだ
2. 気に入った仕事に就けなければ、フリーターになる覚悟で臨んだ
3. 気に入った会社や仕事に就けるかどうかよりも、就職することを最優先に考えた
4. できれば就職せずにフリーターになりたかった

問22. あなたはフリーターについてどう思いますか。(ひとつに○)

1. 労働力として需要があるのだから、社会はフリーターを積極的に認めるべきだ
2. 正社員としての就職先が狭き門である以上、フリーターになるのもやむを得ないと思う
3. とりあえず自分のやりたいことを探すために、フリーターという選択肢があってもいいと思う
4. 夢や目標の実現のためであれば、フリーターという選択肢があってもいいと思う
5. フリーターは十分な税金や年金を納めないの、社会としては認めるべきでない

問23. あなたはニート(Not in Employment, Education or Training =「就業、就学、職業訓練のいずれもしていない人」という存在)に対して、どう思いますか。(ひとつに○)

1. 認める
2. 認めざるを得ない
3. 認めない

問24. ①これまでのあなた②これからのあなた③今のビジネスパーソンを色に例えると何色ですか。

(色・理由についてひとつを選択)

色	1. 赤	2. 黄	3. 緑	4. 青	5. 紫	6. 白	7. 灰色	8. 黒	9. その他
理由	1. 情熱・活気があるから	2. 頑張っているから	3. 頑張っているから	4. 燃えているから	5. 輝いているから	6. 明るいから	7. 疲勞感・活気がないから	8. 不安定だから	9. 平凡で埋もれているから
	10. エロジーのイメージだから	11. 爽やかだから	12. クール・冷静だから	13. 個性がないから	14. 何色にも染まれないから	15. 中間的だから	16. クレーム・清潔だから	17. 暗くてよんでいるから	18. その他

①これまでのあなた

色:()「その他」記入欄:)理由()「その他」記入欄:)

②これからのあなた

色:()「その他」記入欄:)理由()「その他」記入欄:)

③今のビジネスパーソン

色:()「その他」記入欄:)理由()「その他」記入欄:)

問25. あなたが憧れる経営者(会社の社長・会長)は誰ですか。

問26. あなたが、社員が活き活きと働いていると思う会社を1つ挙げてください。(ただし、ご自身の会社は除いてください)

問27. あなたが今までに、達成感や充実感を感じたのはどのような時ですか？(ひとつに○)

1. 自分の力を最大限発揮し、何かをやり遂げた時
2. 自分の成長を感じられた時
3. 視野の広がる良い経験ができた時
4. 仲間と力を合わせて何かをやり遂げた時
5. 自分がリーダーとなってチームで何かをやり遂げた時
6. 周囲の人から褒められたり認められたりした時
7. 社会に貢献できている・人の役に立っていると実感できた時
8. 表彰されるなどの褒章を得られた時
9. その他()

- 問28. 仕事や職場の悩みを誰に相談したいですか。(ひとつに○)
1. 上司
 2. 社内の先輩
 3. 社外の先輩
 4. 同僚
 5. 社外の友人・知人
 6. 恋人
 7. 家族
 8. 学校の先生
 9. ネット上の掲示板
 10. カウンセラーなど
 11. その他()

- 問29. あなたは、自分の良心に反する仕事を上司から指示された場合、どうしますか。(ひとつに○)
1. 会社の利益につながるのであれば行う
 2. 会社の利益につながるのであればおそらく行う
 3. 会社の利益につながることもおそらく行わない
 4. 会社の利益につながることも行わない

- 問30. あなたは、25歳、30歳、35歳のどの時点までには結婚していると思いますか。(ひとつに○)
1. 25歳まで
 2. 30歳まで
 3. 35歳まで
 4. 36歳以上
 5. 結婚しないと思う

- 問31. 問30で「結婚しないと思う」と答えた方にかがいます。それはなぜですか。(ひとつに○)
1. 親戚など人間関係が複雑になるから
 2. 親の扶養・同居の問題を抱えているから
 3. 心理的負担が大きくなるから
 4. 適当な相手がないから
 5. 相手や周囲が同意しないから
 6. 仕事に打ち込みたいから
 7. 趣味を満喫したいから
 8. 自由な時間や所得が少なくなるから
 9. 経済力がないから
 10. その他()

- 問32. あなたは、将来、子どもが欲しいと思いますか。(ひとつに○)
1. ぜひ欲しい
 2. 仕事と両立できる環境がそろえば欲しい
 3. まだわからない
 4. 特に欲しいとは思わない

- 問33. 問32で「特に欲しいとは思わない」と答えた方にかがいます。それはなぜですか。(ひとつに○)
1. 将来が子供にとって良い環境と思えないから
 2. 子育てに自信がないから
 3. 仕事と育児の両立ができないと思うから
 4. 心理的負担が大きくなるから
 5. 経済的負担が大きくなるから
 6. 自由な時間や所得が少なくなるから
 7. 仕事に打ち込みたいから
 8. 趣味を満喫したいから
 9. 自分／夫婦の時間をもちたいから
 10. 子供が好きではないから
 11. その他()

→問35へ

- 問34. あなたは、将来子どもが生まれた場合、仕事を続けたいと思いますか。(ひとつに○)
1. ぜひ続けたい
 2. 続けられる環境(家族の理解、託児所など)が揃えば、続けたい
 3. 育児に専念したい
 4. わからない

- 問35. パートナーとの家事・育児の分担比率はどの程度が理想ですか。
合計が10になるように比率を記入してください。

	あなたご自身	パートナー
【記入例】	(5)	(5)
家事分担	()	()
育児分担	()	()

- 問36. 共働きで育児をする場合、あなた自身が育児休暇を取得することをどう思いますか。
1. ぜひ取得して育児をしたい
 2. 会社で前例があれば取得したい
 3. 自分は育児休暇は取得したくない(パートナーに取得してもらいたい)
 4. どちらともいえない/わからない
- 問37. 10年後の日本社会は、より良い社会になっていると思いますか。
1. なっていると思う (理由:)
 2. なっていないと思う (理由:)

アンケートにご協力いただきありがとうございます。
 本調査の集計結果は、4月末に小会 HP・新聞各紙に公表いたします。

＜派遣責任者（管理者）の意識調査アンケートご協力をお願い＞

社団法人日本能率協会

平素、小会事業につきましては格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、この度は「新入社員教育プログラム」へのご参加を決定いただき、誠にありがとうございます。
小会では、「新入社員教育プログラム」に参加される新入社員の方を対象に、「会社や社会に対する意識調査」アンケートを実施させていただきます。そのアンケートの結果は、「新入社員意識調査報告書」として、6月頃に派遣責任者の皆様のお手元に送付させていただきます。
その一環として、今回は派遣責任者の皆様方にもアンケートのご協力をお願いいたしたく、本シートを同封させていただきます。以下へご記入いただき、**3月30日（金）までFAXにてご返信いただければ誠に幸いです。**ご多忙の折恐縮ではございますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

※「新入社員意識調査報告書」とは・・・新入社員が会社や社会、仕事に対してどのような意識や価値観を持っているかを分析し、今後の新入社員フォローアップに役立てることを目的としたものです。
「2006年度 新入社員意識調査報告書」プレスリリースをご覧ください。以下にアクセスしてください。 ⇒ <http://www.jma.or.jp/release/data/pdf/20060425.pdf>

※本アンケートは、派遣責任者の方が、管理者もしくは先輩であるご質問しております。いずれにも該当されない場合、ご適任者の方にご回答いただきますようお願い申し上げます。
また、本シートをコピーしていただき、派遣責任者の方だけでなく、各部門の管理者の方々にもご協力いただけますと大変幸いです。

問1. 以下の項目のうち、新入社員に入社3年以内に身につけてもらいたい能力・スキルはどれですか。

【あてはまの9つまで選び、回答欄に番号をご記入ください】

- 1. ビジスマナー（言葉遣い、電話対応など）
- 2. 仕事の基本動作（報告・連絡・相談など）
- 3. 仕事上の基礎知識・基礎能力
- 4. 専門的知識・技術力
- 5. パソコンスキル
- 6. 状況対応力
- 7. 問題発見・問題提起力
- 8. 語学力
- 9. 決断力
- 10. 計画性
- 11. 実行力・行動力
- 12. コミュニケーション能力
- 13. その他()

＜回答欄＞

--	--	--	--

問2. あなたが働く目的は何ですか。（収入を得ること以外の目的をお聞かせください）

【上位2位まで選択して、回答欄に番号をご記入ください】

- 1. 仕事を成功させ人に認められること
- 2. 職場において多くの人々と人間的なふれあいや対話を持つこと
- 3. 自分自身の人間性を成長させること
- 4. 仕事を通じて自分の能力や可能性を試してみること
- 5. 仕事を通じて社会に貢献すること
- 6. 自分の持っている力を、企業の発展に役立てること
- 7. 社会との関わりを持つこと
- 8. 仕事を通じてやりがい、充実感が得られること
- 9. 特別な理由はない

＜回答欄＞

--	--

問3. 新入社員（若手社員）への日頃の対応・指導のしかたにおいて、ご自身に近いものはどれですか。

【上位3位まで選択して、回答欄に番号をご記入ください】

- 1. 仕事について丁寧な指導をする上司・先輩
- 2. 部下の意見・要望を傾聴する上司・先輩
- 3. 部下の意見・要望に対し、動いている上司・先輩
- 4. 仕事を任せて見守る上司・先輩
- 5. 仕事の結果に対するねぎらい・褒め言葉を忘れない上司・先輩
- 6. 言動が一致している上司・先輩
- 7. 仕事に対する情熱を持っている上司・先輩
- 8. リスクを恐れずチャレンジする上司・先輩
- 9. 仕事で成果を上げ、上司から信頼されている上司・先輩
- 10. 人間的魅力のある上司・先輩
- 11. プライベートな相談にも応じてくれる上司・先輩
- 12. 仕事だけでなく、プライベートも大事にする上司・先輩
- 13. その他()

＜回答欄＞

--	--	--

■ あなたご自身のことについてお聞きます。【それぞれに○をおつけください】

- F1. 役職
 - 1. 管理職（役員含む）
 - 2. 非管理職
- F2. 年齢
 - 1. 20代
 - 2. 30代
 - 3. 40代
 - 4. 50代以上
- F3. あなたの会社
 - 1. 1,000人以上
 - 2. 500人～1,000人未満
 - 3. 300人～500人未満
 - 4. 100人～300人未満
 - 5. 100人未満
 - 6. わからない
- F4. あなたの会社の業種
 - 1. 農林・水産・食料品
 - 2. 建設・エンジニアリング
 - 3. 繊維・パルプ・紙・化学・薬品
 - 4. 石油・ゴム・ガラス・鉱業
 - 5. 鉄鋼・金属・非金属
 - 6. 電気機器
 - 7. 精密機器・輸送機器
 - 8. その他製造業
 - 9. 金融・証券・保険・不動産
 - 10. 倉庫・運輸
 - 11. 通信
 - 12. 電気・ガス・水道
 - 13. その他サービス業
 - 14. 情報処理
 - 15. 官公庁・団体・学校・病院

アンケートにご協力いただきありがとうございます。

「会社や社会に対する意識アンケート」

2007年度 新入社員意識調査報告書

発行年月 2007年 6月

編集・発行 社団法人 日本能率協会
経営・人材本部

〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22

Tel 03 (3434) 1955

< 禁無断転載 >



無断複製転載を禁ず